

デジタル簡易無線機（総務省技術基準適合品）

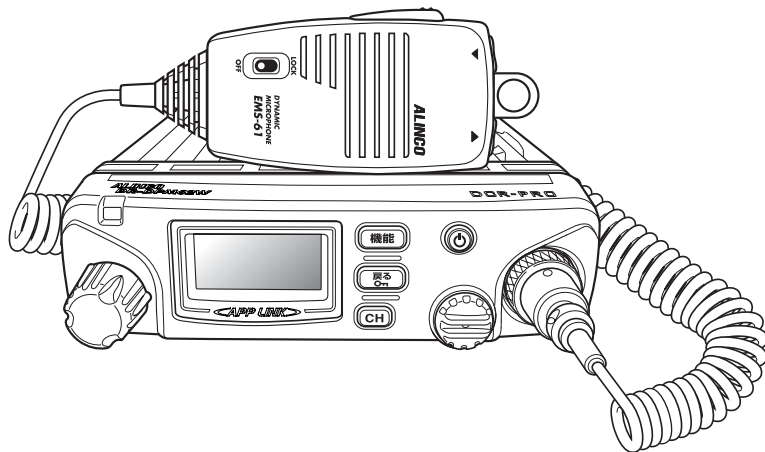
AMBE 方式 / Bluetooth Module XE1134 内蔵

無線局種別コード：3R/3T（登録局）

専用スマートフォンアプリ無線対応

DR-DPM62W

取扱説明書



<注意>

- 本製品をご利用になるためには、無線局の登録申請及び開設申請をする必要があります。同梱の申請書類をご参照ください。
登録申請手続きをしないで運用されますと不法無線局開設により罰則を受けます。
必ず所定の手続きを済ませてからお使いください。
- 音声圧縮（符号化）方式 AMBE+2™ 以外の無線機とは通話できません。
- 本製品にはアンテナや電源は付属していません。別途、本製品に対応するものをご購入ください。
- Bluetooth ユニットを搭載しますがアプリ無線接続用です。別売のワイヤレスマイク類は本機ではお使いになれません。

アルインコデジタルトランシーバーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の性能を充分に発揮させるために、この取扱説明書を最後まで読みただくようお願いいたします。アフターサービスなどについても記載していますので、この取扱説明書は必ず保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。




本機は日本国内専用モデルです。海外では使用できません。




This product is intended for use only in Japan.

◆◆◆安全上のご注意◆◆◆

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
	危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
	△記号は、注意（危険・警告含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容が描かれています。
	○記号は、行為の禁止であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は AC アダプターをコンセントから抜け）が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

危険



DCコード接続の際は、極性を間違えないように十分注意してください。火災・感電・故障の原因となります。赤の配線はプラス（+）極、黒の配線はマイナス（-）極です。



この製品の定格電源、電圧は DC13.8V と DC26.4V でいわゆる 12V 車と 24V 車に自動的に対応します。29V 以上の電圧が掛かると故障、火災、感電の原因となります。12V 以下、15～23V 程度の電圧だと電源が入らない、定格通りの出力が出ない、などの不具合の原因となります。



必ず付属の電源ケーブルをお使いください。電源ケーブルを細くすると火災・感電・故障の原因となります。



万が一内部からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

警告

■使用環境・条件



無線局の登録状の有効期限は 5 年です。登録状に不備がある場合や登録状を取得しない運用はしないでください。不法無線局となり、1 年以下の懲役または 100 万円以下の罰金を課せられます。














分解・改造・修理しないでください。取扱説明書に記載されている場合を除き、ケースなどを外し、内部にふれることはさけてください。火災・感電・けがの原因となります。（改造は電波法違反になります。）







周りに花びんなど、液体の入った容器を置かないでください。液体がこぼれて無線機内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。






湿度の高い所や、冷たい所から急に温かい所へ移動しますと、製品に露がつく場合があります。露がつくと製品の動作に悪影響を与え、故障の原因となりますので、よく乾燥させ、露をよく取り除いてからご使用ください。







-  長時間の連続送信はしないでください。発熱のため本体の温度が上昇しますので、やけどをしないようにご注意ください。運用直後、本体の放熱部に触れないでください。
-  電源コードを折り曲げたり、ねじったり、傷つけたり、熱器具に近づけたり、加熱しないでください。故障の原因となります。
-  電源コードを加工したり、ヒューズホルダーを取り除いて使用することは絶対にしないでください。火災・故障の原因となります。
-  めれた手で電源コードに触れないでください。感電のおそれがありますので絶対にしないでください。
-  引火性のガスの発生場所では、電源を入れないでください。発火の原因となります。本機は防爆仕様ではありません。
-  この製品を使用できるのは、日本国内の陸上と周辺海域のみです。上空、国外では使用できません。
-  電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。
-  内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
-  航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院、介護・医療施設では絶対に使用しないでください（電源も入れないでください）。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、医療機器が故障・誤動作する原因となり罰則が科せられます。
-  この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元及び販売元はその責任を負うものではありません。
-  この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

-  この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。
-  指定以外のオプション品や他社のアクセサリ製品を接続しないでください。故障の原因となります。特にアンテナは指定のもの以外を使用すると罰せられます。
-  本機の故障、電波環境や使用場所の状況などから通信できなかったことで発生した、逸失利益に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
-  機種名、数字や記号が書かれたラベル類は、絶対に剥がしたり、他のシールなどで隠したり、貼り替えたりしないでください。技術適合の基準から外れ、違法無線機とみなされることがあります。ラベル類が不正規の物は製品保証の対象外となります。





■ 運転中の無線機の使用について

-  車載型無線機を運転手が走行中に運用する際は、安全運転を最大限優先してください。操作パネルを走行中に注視していると道路交通法違反で罰せられる可能性があります。
-  外部の音が聞こえないような状態にして運転しないでください。外部アンプや、大型スピーカーをつないで周りの音が聞こえないような大音量で受信したり、耳を完全に覆うタイプのヘッドホンを使ったりすると罰せられることがあります。一部の地方自治体では運転中にイヤホン・ヘッドホン類を使用すること自体を規制していますので、ご不明な点は最寄りの警察署などにお尋ねください。
-  本機を自動運転、自動安全装置のある自動車に搭載するときは、送信中にそれらが誤動作しないか安全な場所を確認してからお使いください。車載装置の誤動作による事故の補償は致しかねます。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

-  イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。
-  トランシーバーは調整済みです。このトランシーバーをユーザーが改造、仕様変更することは法律で禁止されています。
-  布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。また、なるべく直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。
-  水をかけたり、水が入ったりしないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。
-  水などでぬれやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  近くに小さな金属物や水分の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

■異常時の処置について

-  以下の場合は、すぐ本体の電源を切って、電源ケーブルを抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
-  修理はお買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご連絡ください。お客様による修理は、法令により禁止されていますので、絶対にお止めください。
- 
 - 異常な音が出たり、煙が出たり、変な臭いが出るとき
 - 落としたり、ケースを破損したりしたとき
 - 内部に水や異物が入ったとき
 - DCケーブルのコードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）
-  雷が鳴り出したら、安全のため本体の電源を切り、アンテナとDCケーブルを外してご使用をお控えください。本製品は雷に対する保護や保証は致しておりません。

■保守・点検



本体のケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。本機に内蔵されている Bluetooth Module(XE1134)の分解、改造をすることは法律で禁止されています。



注意

■使用環境・条件



電化製品の近くで使うと電波障害を与えたり受けたりすることがあります。原因となる機器から離れてお使いください。



湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして故障やけがの原因となることがあります。



幼児の手の届くところには置かないでください。けがなど事故の原因となります。




磁気カードなどを近づけないでください。無線機に内蔵されている磁石や磁気を帯びた部品で、フロッピーディスクやキャッシュカードなどの内容が消去される場合があります。




直射日光の強いところや炎天下の車などに長時間放置しないでください。発熱・発火・故障の原因となります。プラスチックやビニールなどが多用されるマイクなどのアクセサリーは熱や日光で劣化しますので特にご注意ください。





電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。自動車内で使用した場合、車種によりまれに車両電子機器に影響を与えるものがあります。そのような場合は使用しないでください。チューナー・テレビなど、他の機器に影響を与えるようなときは、距離を離して設置してください。


 一般ゴミと一緒に捨てないでください。発火・環境破壊の原因となります。廃棄の前に必ず無線局の廃止届を提出してください。本機は家電製品と同様の手続きで廃棄できます。

 アンテナ端子には 50 Ω系の同軸ケーブルを使用して、指定のアンテナを接続してください。同軸ケーブルやアンテナのインピーダンスが異なっていたり、アンテナの調整が不完全なときには、故障や他の電子機器の動作に影響を与える原因となります。


 放熱をよくするため、無線機はできるだけ囲わないように設置してください。


 隣接して駐車した自動車間での通話など、極端にアンテナ間の距離が近い場合、高出力で送信するとお互いの無線機に悪影響を及ぼすことがあります。極端に近い距離に通話相手がいる時は、お互いにローパーに切り換えて通話する事をおすすめします。

 直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。


 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。


■トランシーバー本体の取り扱いについて


 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源を切り、電源ケーブルを抜いてください。

 電源コード、マイクコードは無理に引っばったり引き抜いたりしないでください。故障の原因となります。

■保守・点検

 お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源を切り、電源ケーブルを抜いてください。

 汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。

 ベンジン、シンナー、洗剤などの溶剤を使うと外装が変質したり、ショートを誘発して故障するため絶対に使わないでください。パソコンやデジカメのような A V 機器を清掃するために市販されているクリーニング用具が最適です。

■Warning

This product is permitted to use within Japanese territory and territorial-water only. Aviation use is strictly prohibited. A radio operator license is NOT required but a registration to authority is mandatory prior to use. Registration instruction is included. Misuse violates the Radio Law of Japan and shall be subject to fine or punishment.

■Bluetooth® について



本機に内蔵している Bluetooth Module(XE1134) は総務省技術基準適合品です。分解、改造することは、法律で大きく禁じられています。



電子レンジの近くで使うと電磁波の影響で通話できなくなることがあります。妨害を受けたときは電子レンジから離れてください。

・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■Bluetooth 機能による電波干渉について

本機の Bluetooth 機能を使用するときは、以下についてご注意ください。Bluetooth に使用される 2.4GHz 帯では、電子レンジなどの産業、科学、医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局が運用されています。

- ・本機の Bluetooth 機能を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、2.4GHz 帯のアマチュア無線局などが運用されていないことをご確認ください。
- ・万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、Bluetooth 機能をオフにしてください。
- ・その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターにご相談ください。

■2.4GHz 現品表示記号の意味について

- 「2.4」 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備
- 「FH」 : FHSS 方式
- 「1」 : 想定干渉距離が 10 m 以下
- 「---」 : 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局の帯域を回避不可



■商標登録について

- ・Alinco、アルインコ、Alinco/ アルインコ のロゴは、米国および他の国々で登録されたアルインコ株式会社の登録商標です。
- ・Windows® の正式名称は Microsoft® Windows® Operating System です。Microsoft、Windows、Windows Vista、DirectX は、米国 Microsoft Corporation. の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アルインコ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- ・「QR コード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

◆◆◆目次◆◆◆

安全上のご注意	2	子機間通話禁止機能	25
目次	7	受信音質調整機能	25
使用前のご注意	8	受信低下通知機能	25
機能と特徴	8	受信音量一定化機能	25
1. お使いになる前に	9	ノイズキャンセル機能	26
付属品の確認	9	ノイズ抑制機能	26
電源の接続と設置方法	9	デュアルオペレーションモード	26
2. 本体の名称と動作	13	ショートメッセージ機能	27
3. 基本操作	15	エアクローンモード	27
4. 通信前のご注意	16	呼出切替機能	28
5. 通信方法	16	リセット	28
ユーザーコード通信	16	7. セットモード	29
個別通信	18	セットモード一覧	29
6. 便利な機能	20	セットモード基本操作	30
アプリ無線機能	20	セットモード	30
簡易無線、アプリ無線中継機能	21	8. 保守・参考	41
キーロック	21	故障とお考えになる前に	41
モニター機能	22	9. オプション一覧	43
秘話通信	22	10. 定格	43
強化秘話通信	22	11. 付録	44
プライベートチャンネル機能	22		
スキャン機能	22		
緊急通報機能	23		
緊急通報動作	23		
ショックセンサー機能	23		
通話録音機能	23		
短縮動作	24		

◆◆◆ 使用前のご注意 ◆◆◆

■ 電波法上のご注意

- 本機はデジタル簡易無線登録局です。使用するにはあらかじめ、登録申請や開設届の提出が必要になります。
- 他局の通信を妨害したり、傍受した内容を盗用することは法律で固く禁じられており、違反すると罰せられます。
- 本機は日本国の河川湖沼を含む陸上、領海と接続水域、及び排他的経済水域内でお使いになれます。上空、海外での使用は違法で罰せられます。
- 住所や名前が変わったり、廃局したり、他人への貸し出しをするときも届け出が必要です。詳しくは管轄の総合通信局におたずねください。廃局届をしないと、使っていないでも電波利用料は納付する義務がありますのでご注意ください。

■ 航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、病院や医療介護施設、無線中継所など無線機器の使用が制限されている場所で使うと罰せられます。

■ 本機を複数台でご使用いただく場合、至近距離（10m程度が目安）で同時に通信しないでください。異なるチャンネル同士であっても、強い電波が影響し合って通話ができなくなることがあります。

■ 本機を分解、改造したり、本体背面に貼り付けてある証明ラベルを剥がして使用することは法律で固く禁じられています。

■ 高温、多湿、直射日光の当たるところ、ほこりの多い場所は避けてお使いください。

■ 通信のできる距離は周囲の状況によって大きく異なります。本機に採用されている電波は直進性が高く、間に構造物や地形などの障害物があると通信できる距離が短くなります。

■ 販売店で事前にプログラミングされている場合、本書に書かれた機能の一部は制限されていることがあります。詳しくは、プログラミングした販売店にお問い合わせください。

■ 本機の秘話機能は第三者に通信内容が聞かれる可能性を低くするものであり、無線の性質上、通信の秘匿性を保証するものではありません。

■ 防水、防塵ではありません。水分や粉塵が無線機内部に入ると故障した場合、保証の対象にはなりません。汗や工場で出る鉄粉などは意識していても内部に入りがちです。特にご注意ください。

■ 本機は米国 DVS1 社の開発した AMBE(Advanced Multi-Band Excitation)方式による音声圧縮技術を採用し AMBE+2™ を使用した他のデジタル簡易無線(種別コード:3R/3T)との互換性を確保していますが、AMBE+2™ 以外の音声圧縮技術(RALCWI方式など)を使用したデジタルトランシーバーとの互換性はありません。

The AMBE+2™ voice compression software included in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. The user of this software is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the object code, or in any other way convert the object code into a human-readable form. US Patent Nos.: #8,595,002, #8,359,197, #8,200,497, and #6,912,495.

◆◆◆ 機能と特徴 ◆◆◆

■ デジタル簡易無線登録局のチャンネル割り当て増加に対応した無線機です。

■ 専用スマートフォンアプリ(Air-InCom/Air-InCom Lite)と接続して Air-InCom/Air-InCom Lite 対応の弊社製品と通信することができます。

■ 総務省技術基準適合品の Bluetooth Module (XE1134) をフロント部に内蔵しています。



■ 業務でも、レジャーでも、目的を選ばず使えます。

■ パワフルな5W出力により、より広い通話エリアを確保できます。

■ 秘話通信により32,767通りから選べるコードが合致しないと通話できない高い秘話性をもっています。また、弊社独自の強化秘話機能を使うことで、更に秘匿性を高めることができます。

■ 通常のユーザーコード通信に加えてグループ通信や相手を選択して通話することが可能な個別通信に対応しています。

■ 大音量2Wのオーディオ出力、ベル、キーロック、子機間通話禁止、オートパワーオフ、各種ビープ音やマイク感度の設定など便利な機能はもれなく採用しました。

■ 録音機能やノイズキャンセルに加えて、音声ガイダンスや短縮動作による機能など無線機をより便利にお使いいただける多彩な機能を搭載しています。

■ 別売の防水型マイクが使えます。標準付属マイクと併用して2本のマイクで同時に送信もできます。

■ 急ブレーキが掛かったときのような「衝撃」と、車載時の揺れを想定した「振動」は、米軍納入規格(MIL)をクリアしています。

1

お使いになる前に

付属品の確認

本製品には以下のものが付属しています。ご使用前に確認してください。

□本体



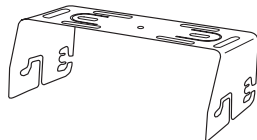
□マイクロホン EMS-61



□電源ケーブル UA0038AY



□モービルブラケット FM0078Z



□マイクハンガー FM0385



タップタイトネジ
(M3 x 8) x 2 個

□六角ネジ用スパナ



□モービルブラケット取付け用ネジセット

本体取付け用六角ネジ
AE0012
(M4 x 8mm) x 4



タップリングネジ
(M5 x 20mm) x 4



ネジ
(M5 x 20mm) x 4



六角ナット
(M5) x 4



- 取扱説明書（本書）
- 申請書類一式
- 保証書

注意

・保証書に購入日が記載されていないときは、製品名と日付が記載されたシートや納品書のような書類を保管してください。ご購入日が証明できる書類が無いと製品保証は無効となりますのでご注意ください。

・設置や取付けに使用するネジは、付属または指定のものをお使いください。長すぎると機器内部のショート、短すぎると取付け不安定となり、落下して故障の原因となります。

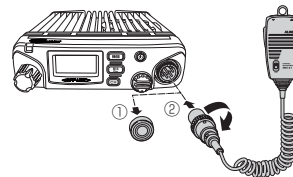
弊社純正、または弊社が認めたアクセサリ以外をご使用になって起きた不具合は保証期間の有無を問わず有償修理になります。他社製品の使用の可否は一切検証しておりません。マイクやアンテナなど、本機に使用できるとして販売されている製品についてはそのメーカーにお問い合わせください。

電源の接続と設置方法

本機の設置や取付けには、プラスドライバーなどの簡単な工具が必要です。設置を始める前に本章をお読みの上、必要に応じた工具をご用意ください。

■マイクロホンの接続

・付属品マイク
図のようにゴムの端子カバー①を外し、右側のマイクコネクタに②のコネクタを挿入します。コネクタの溝の向きに注意してください。リングを止まるまで回してしっかり固定します。



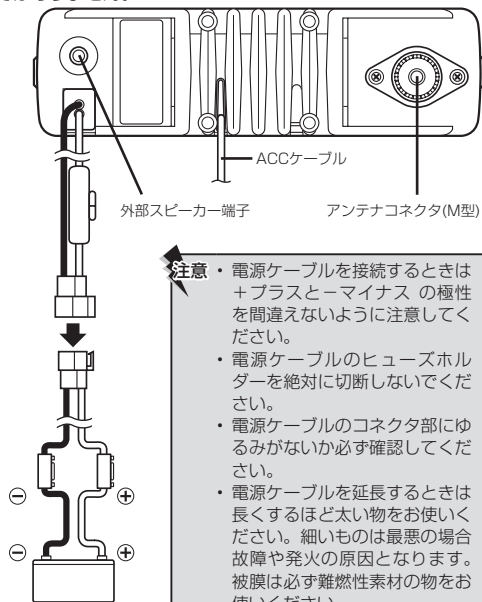
・別売のねじ込み式スピーカーマイク
左側のプラスチックのキャップをコイン状の物で反時計方向に回して外します。マイクのプラグを差し込んでから、止まるまでしっかりねじ込んでください。

※取り外したカバー類は必ず保管してください。使わない端子は必ずカバーしてください。防塵、防水、腐食防止に効果があります。

■電源・アンテナ・外部スピーカーの接続

電源は車のバッテリー（12/24V）に、直接付属の電源ケーブルで接続してください。

リアパネル右のアンテナコネクタにアンテナの同軸ケーブルを接続します。本機のアンテナコネクタは汎用性が高く、使いやすいインチ・ミリ両用（M/PL）タイプを採用しています。専用のもの比べてゆりみが多く感じられますが、異常ではありません。



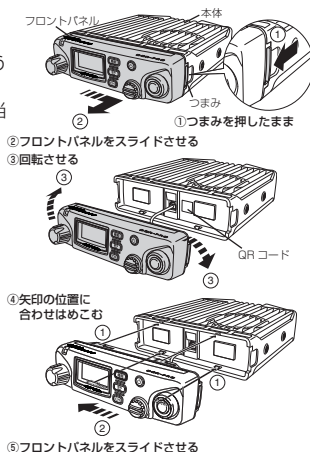
注意 ・電源ケーブルを接続するときはプラスとマイナスの極性を間違えないように注意してください。

- ・電源ケーブルのヒューズホルダーを絶対に切断しないでください。
- ・電源ケーブルのコネクタ部にゆりみがないか必ず確認してください。
- ・電源ケーブルを延長するときは長くするほど太い物をお使いください。細いものは最悪の場合故障や発火の原因となります。被膜は必ず難燃性素材の物をお使いください。
- ・電源ケーブルのヒューズホルダーは濡れたり振動し続けるとショートやゆりみで故障の原因となります。濡れない場所に結束バンド等で固定して設置してください。

■フロントパネルについて

本体は、上下どちらを向いても良いようにセットできます。波型のヒートシンクになるべく外気が当たるように設置してください。

※右図の矢印で示した場所にあるQRコードは、弊社のHPにある本機の取扱説明書へのリンクです。



■モバイル（自動車）で運用する場合

モバイル（自動車）運用では、なによりも安全運転を優先してください。次の手順に従って、接続してください。

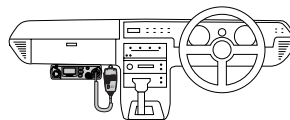
●取付け場所

車種によりレイアウトは異なりますが、操作性、安全運転の面から最適と思われる場所を選んでください。

次のような場所は避けてください。

- ・ひざが本機にあたる場所やエアバッグの動作に支障のある場所
- ・直接振動が伝わる場所
- ・カーヒータの吹き出し口など、車内温度が高くなる場所
- ・マイクがハンドルなどに引っかかるような場所

注意 ETCやカーナビなど電子機器からなるべく離して設置してください。



■ モービルアンテナの取付け

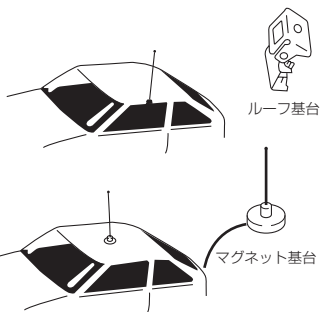
DCR の規格に準拠して製造された、市販のアンテナを使って、モービルアンテナを車に取付けます。走行中に脱落することがないように、しっかりと固定してください。

アンテナの同軸ケーブルを、本機に接続します。

本製品は 351 MHz のデジタル簡易無線登録局です。400MHz 帯の免許局ではありません。

アンテナ購入時にご注意ください。

自作したアンテナはお使いになれません。



2. 付属の六角ネジ (4 本) を本機に軽く取付けます。

必ず付属の六角ネジ (4 本、M4 × 8mm のみ) を使用してください。

3. 六角ネジ b を車載アングルの後ろの溝に先に入れ、押し上げながら押し込みます。

4. 同時に六角ネジ a を前の溝に入れます。

5. 六角ネジ (4 本) を締めて固定します。



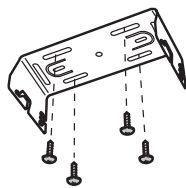
注意 弊社の製品保証には、取付けや取り外しに掛かる費用は含まれていません。保証の有無にかかわらず不具合が起こり、製品を取り外して再度取付ける際に費用が発生しても、弊社ではその費用の負担は致しかねます。設置を第三者に委託されるときは、予めご了承ください。

■ 車載アングルの取付け

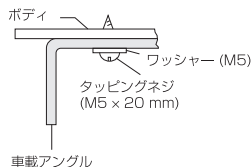
ここでは、グローブボックス下に取付ける場合について説明します。(+ ドライバー No.2 をご用意ください。)

1. 車載アングルを、グローブボックス下の適切な位置に取付けます。

付属のワッシャー (4 個) とタッピングネジ (4 本) で、取付けてください。



<下孔としてφ4±0.2をあけた場合>



■ マイクハンガーの取付け

マイクハンガーは右図のように、タップタイトネジ (M3 × 8mm) × 2 をプラスドライバーでしめて取付けます。



注意 ・直射日光が当たる場所はさけてください。プラスチックの様な外観部品を劣化させる原因になります。

■ 外部電源コントロール機能

自動車のイグニッションキー入 / 切と連動して無線機の電源を入 / 切る機能です。

1. 自動車のエンジンを切り、無線機が電源ケーブルと繋がっていないことを確認してください。
2. 本体後面から出ている ACC ケーブル (P.13) を自動車の ACC 電源に接続します。
3. 無線機の電源ケーブルを繋ぎ、自動車のエンジンを入れてください。
4. 無線機の電源とイグニッションキーが連動していることを確認してください。

- 注意**
- ・イグニッションキー入時は本体の電源キーで電源を入/切できますが、イグニッションキー切時は本体の電源を入れることはできません。
 - ・無線機本体の電源スイッチとイグニッションキーでの電源のオンオフは別の動作です。連動で電源を入れるときは一度、無線機の電源をオンにした状態でイグニッションキーをオフにします。
 - ・イグニッションキーがオンのときは無線機の電源キーで手動でもオンオフできます。イグニッションキーが切れていると電源は入りません。
 - ・無線機本体の電源スイッチが切れているときに、イグニッションキーをオンにしたときも電源は入りません。
 - ・ACCケーブルは電氣的にオープン状態では電源は切れません。必ずイグニッションキー切時にLレベル(車のシャーシアースとACC端子が40kΩ以下)になるようなACC端子に接続してください。車には複数のACC端子がありますので、確実にイグニッションキーで電源入/切できるACC端子を探して接続してください。
 - ・ACCケーブルはショートしないようにしてください。
 - ・外部電源コントロール機能を使わない場合は、ACCケーブルの保護キャップを必ず着けてください。

■新世代の自動車への設置について

最新の自動車には多様な電子部品が搭載されており、これらの中には電磁波を発生したり、電波を利用するものがあります。それらが本機との間でお互いに電波障害を与えたり、受けたりする可能性があります。

設置時は、車載機器や無線機の電源、アンテナ関連の余分な長さのケーブルは巻いてまとめ、なるべく違う機器のケーブル類と絡ませないように整理すると電波障害対策になることがあります。

設置後は、必ずカーディラーのサービスピットに点検を依頼したり、安全な場所で試運転するなどして、無線機と自動車の両方に異常が無いことを確認してください。特に自動運転、自動ブレーキ等の安全に関わる装置は入念に点検してください。車載機器の誤動作による事故の補償は致しかねます。

■車載アンテナの道路運送車両保安基準

平成29年4月1日以降は、道路運送車両保安基準の新基準に適合するアンテナや基台の装着が義務付けられています。古いアンテナや基台の仕様に関する事は、お使いのアンテナのメーカーに直接ご相談ください。

■通話距離について

本機の通話距離は、お使いになるアンテナの性能と設置条件で決まります。

目安は：

- ・標準的なホイップアンテナを使った車載局同士：平地で4～5Km
- ・高性能な無指向性アンテナを、周りにビルなどが無い開けた場所で20m程度の高さに設置した固定局同士：10kmまたはそれ以上
- ・船舶同士：海上は見通しが良いため陸上の車載局同士よりも一般的には有利ですが、波がアンテナの揺れの原因となって電波伝搬が安定し不利なことがあります。固定局では有利になる長いエレメントのアンテナより、利得が低くても短いアンテナのほうが揺れが少なく通信が安定することもあります。

アンテナにつなぐ同軸ケーブルやコネクタは、長く配線するほどロスが低い上質なものを使う必要があります。安価な物を使うと信号が減衰して正しく送受信できず、通話距離が極端に短くなるか、通話できなくなることがあります。周辺機器の選定は無線機販売店にご相談ください。

本機への接続が許可されているアンテナのリストは弊社HPでご覧になります。無線アプリ使用時は、ご契約の携帯電話会社のサービスエリア内で通信できます。



まれに、上空大気の状態と湿度に特殊な条件が重なった時だけ一時的に発生する「ラジオダクト」と呼ばれる現象で、驚くほど速方と通話できたり、混信を受けたりすることがあります。

■呼び出し用15チャンネルについて

デジタル簡易無線登録局は、ユーザー別にチャンネルが割り当てられないため、いつも同じ番号のチャンネルが空いているとは限りません。このため15CHは「呼び出し専用CH」と決められています。

誰とも通話できるように秘話、個別呼び出し、ユーザーコードなどの通話用機能は設定できない仕様になっていて、ディスプレイには「呼出」と表示されます。15CHでの長話は呼び出しを待つ人に迷惑となるのでお控えください。

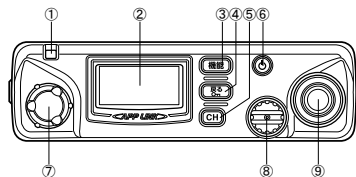
【15CHの運用方法】

- ・混信や設定間違いなどで通話ができなくなった時はすぐに「呼出」CHに切り替えて受信するよう、予め全員に周知しておきます。
- ・相手を呼び出す直前に空いた通話用チャンネルを探しておきます。
- ・「呼出」CHで「〇〇さん、聞こえますか?」「はい△△さん、聞こえます。」「〇〇さん、17CHで呼びます」のように短く連絡を取り合い、チャンネルを変えます。

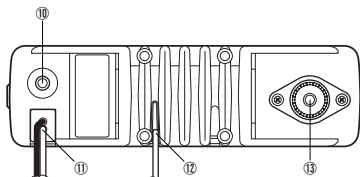
2

本体の名称と動作

■フロントパネル

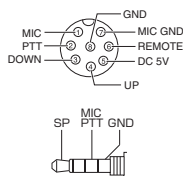
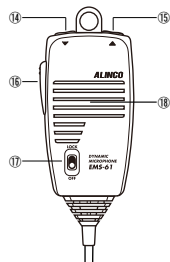


■リアパネル



■マイクロホン (EMS-61)

■マイクコネクタ



No.	名称	機能
①	インジケータ	デジタル簡易無線として使用時 緑点灯：受信 赤点灯：送信 水色フラッシュ：短縮機能で音量固定時 白フラッシュ：緊急通報送信または受信 青フラッシュ：呼び出しあり（ベル機能動作時） /未読メッセージあり アプリ無線として使用時 青色早い点滅：ペアリング中 青色早い2回点滅：Bluetooth未接続状態 青色遅い点滅：Bluetooth接続状態 水色点灯：アプリ無線受信、ガイダンス中 黄色点灯：PTTを押している状態 水色緑交互点灯：アプリ無線、デジタル簡易無線同時受信 黄色赤交互点灯：アプリ無線、デジタル簡易無線同時送信
②	ディスプレイ	本書中の「ディスプレイ表示」を参照してください。
③	機能キー	押すとセットモードになります。 セットモードでは設定階層が深くなります。
④	戻るキー	セットモードで設定階層が浅くなります。個別通信時には個別→グループ→全局と通信相手を切り替えます。 長押しでキーロック設定 / 解除ができます。
⑤	CH キー	押すとチャンネル番号が点滅し、ダイヤルでチャンネルを選びます。もう一度押すと解除されます。 長押しをすると短縮動作をします。
⑥	電源キー	長押しすると電源を入 / 切します。 専用アプリでの通話中に押すと、通話を終了します。 （専用アプリ未使用時）本機と接続しているスマートフォンに電話がかかってきたとき、押すと応答できます。再度押すと通話を終了します。
⑦	ダイヤル	待受画面では音量、チャンネルを選択します。 セットモードでは設定項目や設定値を選択します。
⑧	マイクコネクタ 1	オプション品のねじ込み式マイクを接続します。 使用する際にはしっかりと奥までねじ込んでください。
⑨	マイクコネクタ 2	付属のマイク、またはオプション品の8ピンマイクを接続します。
⑩	外部 SP 端子	市販の外部スピーカーを接続する端子です。
⑪	電源コード	13.8V または 26.4V の DC 電源を接続します。
⑫	ACC ケーブル	外部電源コントロール機能を使用するときに使います。
⑬	アンテナコネクタ	インピーダンス 50 Ω のデジタル簡易無線専用の市販アンテナを接続します。
⑭	DOWN キー	チャンネル番号、各設定項目の DOWN
⑮	UP キー	チャンネル番号、各設定項目の UP
⑯	PTT キー	押すと送信します。離すと受信に切り替わります。
⑰	ロックスイッチ	UP/DOWN キーの機能を停止します。

No.	名称	機能
⑩	マイク	マイク部です。

注意・純正アクセサリ以外のプラグを挿入すると壊れる可能性があります。そのときは保証の対象外となります。

- 故障の原因となりやすいデリケートな部品ですから、プラグ部分でねじったり、曲げたり、斜め方向に挿しすぎたりするなど、必要以上のストレスをジャック内部に掛けないでください。
- 必ずプラグは最後までしっかり挿入してください。中途半端に挿入された状態では、プラグ・ジャック両方が故障の原因になります。

【重要：必ずお読みください】

■本機の初期状態と専用スマートフォンアプリ (Air-InCom / Air-InCom Lite) との接続について

本機は弊社専用のスマートフォン無線アプリ (Air-InCom / Air-InCom Lite) を使用することを前提に設計されています。このため、本機の電源を入れるとすぐにペアリングモードとなりインジケーターが青色で早稲点滅を始めます。

・無線アプリ (Air-InCom / Air-InCom Lite) をお使いにならない場合は以下の操作をしてください。

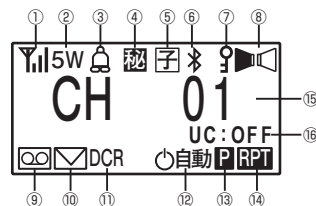
1. 「機能」キーを押して [セットモード] を表示させる。
 2. ダイヤルを回して「各種動作設定」を選択する。(バックが濃い色になる)
 3. 「機能」キーを押して [各種動作設定] メニューにする。
 4. ダイヤルを回して「Bluetooth」を選択する。
 5. 「機能」キーを押して [Bluetooth] メニューにする。
 6. ダイヤルを回してオン表示をオフに変える。
 7. 「戻る」キーを3回または、PTT を押して待ち受け画面に戻る。
- Bluetoothアイコンとインジケーターの青色点滅が消えたことを確認してください。

参考 「戻る」キーを押しながら電源をオン / オフすることで Bluetooth のオン / オフがワンタッチで行うことができます。

・無線アプリ (Air-InCom / Air-InCom Lite) との Bluetooth 接続は P.20 のアプリ無線機能で説明しています。

初めて本機をお使いの時は、接続される前にご理解いただきたい基本操作の説明がありますので、引き続き本書をお読みください。

■ディスプレイ表示



説明	
①	Y 受信した電波のレベルに応じて四段階に点灯します。送信時には送信マークになります。
②	5W 送信出力レベルに応じて表示します。(P.33)
③	🔔 ベル機能設定時に点灯します。(P.34)
④	🔒 秘話通信設定時に点灯します。(P.22)
⑤	🚫 子機間通話禁止機能で子機設定時に点灯します。(P.25)
⑥	📶 Bluetooth 機能がオン時に点灯します。(P.20)
⑦	🔒 キーロック動作時に点灯します。(P.21)
⑧	🔊 現在有効なスピーカーを表示します。黒色スピーカーはマイクコネクタ1に接続するスピーカーマイク、白色スピーカーは内部 / 外部スピーカーを表します。
⑨	📄 未聴の録音データがある場合に点灯します。
⑩	✉ 未読のショートメッセージがある場合に点灯します。
⑪	DCR Bluetooth 接続時の PTT 設定状態を表示します。(P.20)
⑫	🔌 オートパワーオフ機能設定時に点灯します。(P.36)
⑬	P プライベートチャンネル機能動作時に点灯します。(P.22)
⑭	RPT 簡易無線、アプリ無線中継機能をオンすると点灯します。(P.21)
⑮	CH 01 送信・受信チャンネル番号 (周波数) や各設定内容を表示します。
⑯	UC: OFF ユーザーコードや自局 ID、グループを表示します。

注意・セットモード「Sメーター表示」(P.35) をオンに設定すると①は受信時に一番左のアンテナマークのみ表示されるようになります。また、⑨～⑯のアイコンは表示されなくなります。

3

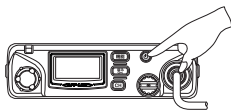
基本操作

■キーの操作方法について

- ・本書の説明でキーやスイッチを「押します」とは、押した後すぐに離すことを意味します。長く押しすぎると違う動作をすることがあります。
- ・「約〇秒間押す」「長く押す」「長押しする」とは機能が動作するまで押し続けることを指します。

■電源を入れる / 切る

電源キーを長押しすると電源が入ります。
電源を切るときも同じ操作をします。



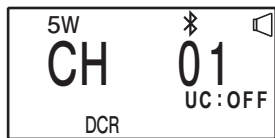
■音量を調整する

音量調節範囲は 0 ~ 42 までの 43 段階です。
ダイヤルを回して適切な音量に調整してください。
後述のセットモードで選べるモニター機能を使うと、ザーという雑音が聞こえ、音量調節の目安になります。



■チャンネルを合わせる

待受画面で「CH」キーを押して、CH 点滅中にダイヤルを回して CH01 ~ CH82 を選択します。
マイクの UP/DOWN キーでも CH の変更が可能です。



「アプリ専用」と表示されたチャンネルはアプリ無線専用チャンネルです。
詳しくは P.20 アプリ無線機能をご覧ください。

■受信する

信号を受信すると、受信した信号レベルに応じてディスプレイのアンテナが表示され、交信条件を満たしているとき音声が聞こえるようになります。個別通信のときは相手局の個別 ID が表示されます。

重要 下記のような、インバーター内蔵の電気製品は受信障害の原因になることがあります。

- *LED 照明 *IH 式調理器具 *ソーラー発電装置
- *DC-AC インバーターなどの車載機器

■送信する

「PTT」キーを押すと、インジケーターが赤色または黄色に点灯し送信状態になります。

「PTT」キーを押しながら、マイクに向かって話します。マイクと口元は 5cm ほど離してください。

「PTT」キーを離すと受信待受状態に戻ります。

本機は送信を開始してから相手に音声が聞こえるまで若干の遅延があります。「PTT」キーを押したら一呼吸置いてからお話してください。

- 重要**
- ・マイクに向かって話すとき、声が大きすぎたり口元が近すぎたりすると、送信音が歪み（ひずみ）ますのでご注意ください。
 - ・マイク穴をステッカーやラベル、手や指でふさがないようにください。声を拾わなくなります。
 - ・15CH（「呼出」表示）は呼び出し専用です。（P.12）通常の通話は迷惑になるのでおやめください。

■データ通信用チャンネルについて

総務省は CH26 ~ 30、CH71 ~ 82 をデータ通信に使用するように推奨しています。データ通信はタイムアウト制限がかかるまで連続送信することが多いのでキャリアセンスが働いて通信できないことが多くなります。音声通信ではこれらのチャンネルの使用は避けることをお勧めします。

4

通信前のご注意

全ての DCR 登録局トランシーバーには電波法に基づく下記の制限が設けられています。

キャリアセンス

通信中のチャンネルで送信操作を行うと、表示と音で警告し、送信できなくなる機能です。ディスプレイに「CH 使用中」と表示されます。

先に通話中の人に妨害を与えないために設けられています。

・各種の選択通話設定（ユーザー・個別・秘話等）がされているとそのチャンネルが使われているかどうか分からず、キャリアセンスに気づかないことがあります。アンテナアイコンが表示されているときは声が出ていなくても先に通話中の人が居ると判断できます。



送信時間制限装置

1 回の送信で連続して送信できる時間は、「5 分以内」と電波法で定められています。

連続した送信が 5 分を超えると自動的に送信を停止し、停止後 1 分間は送信できなくなります。

チャンネルの独占や無駄な長話を防いでなるべく多くの人がチャンネルを共有して使えるようにするために設けられています。

送信時間制限が働く前に警告音を鳴らすことができます。(P.34)

また、送信残り 3 分前からディスプレイに残り送信時間を表示します。

通信の互換性について

本機は音声圧縮方式 AMBE + 2™ を採用した他社製の DCR 無線機と基本の音声通信（ユーザーコード・デジタル秘話通信を含む）はできますが、RALCWI 方式の無線機とは通話できません。AMBE 方式を採用する弊社製 DCR 同士では、機種が異なっても個別通信などの各種通信機能は共通で使えるようになっています。

5

通信方法

本機で利用できる通話モードの概要と操作方法を紹介します。

重要 本機の基本操作

P.29 のセットモードの項目に、本機が持つ機能のカスタマイズ方法が記載されています。次の項目以降、「セットモードで〇〇を設定します」という説明がひんばんに出てきますが、全てこの操作が基本になるので、ここで使い方を憶えてください。以降、機能キーを押してセットモードに入ります、のような長い説明は省略します。

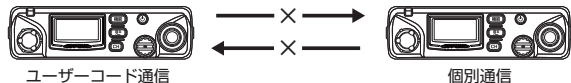
- ①電源を入れ、通話したいチャンネルに合わせます。
- ②機能キーを押します。「セットモード」が表示されます。
ダイヤルを回すかマイクの UP/DOWN キーを押して「〇〇設定」「〇〇機能」のようなメニューを選びます。
- ③もう一度「機能」キーを押すとサブメニュー画面になります。
もう一度「機能」キーを押すとその項目の設定値や機能の選択ができる設定画面になります。
- ④ダイヤルを回すかマイクの UP/DOWN キーを押して設定を切り替えます。
項目によっては「機能」キーを押すこともあります。
そのようなときは画面に「変更」や「桁移動」のように説明が表示されます。
- ⑤「戻る」キーを押すと新しい設定を保持して、ひとつ前の画面に戻ります。「P T T」キーを押すと確定して待受画面に戻ります。

※次のユーザーコードの手順を読みながら、この基本操作に慣れてください。セットモードに項目がない場合は「拡張セットモード」がオフになっています。P.30 の説明に従い拡張セットモードをオンにしてください。

..... ユーザーコード通信

他グループの混信を聞かずに済むので快適な受信待ち受けができる便利な機能です。P.18 以降で説明する「個別通信動作」設定時は使用できません。セットモードの「ユーザーコードの設定」で、通話グループのメンバー全員にチャンネル同様、001 から 511 までの任意の同じ番号を設定することで使用できます。

- 重要** ・ユーザーコードはアナログ無線機の「グループトーク」や「トーンスケルチ」と似た機能で、秘話や混信を無くす機能ではありません。秘話を別途設定しておかないとコード設定していない人は全ての通話を聞くことができ、混信が聞こえなくても使用中のチャンネルでは送信はできません。
- 初期状態では設定したユーザーコードは呼び出し用のCH15を除く全てのチャンネルに同じ番号が共通して登録されますが、セットモードで各チャンネルごとに個別設定することもできます。(P.36 各種動作設定 / 拡張セットモード / CH 通信設定)



注意 ユーザーコード通信と個別通信では通話できません、どちらかの通話方式に統一してお使いください。

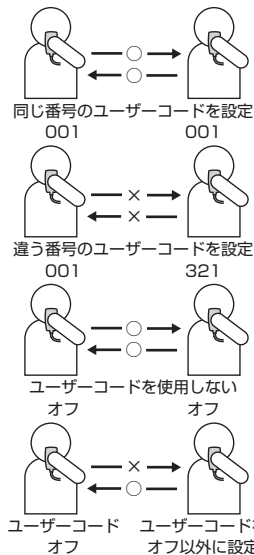
■ユーザーコード通信の手順

- ①チャンネルを合わせます。
 - ②「機能」キーを押します。ダイヤルを回して「通信設定」を選びます。
 - ③もう一度「機能」キーを押して「ユーザーコード」を選びます。もう一度「機能」キーを押すと図のような表示になり、3桁のコードが選べます。
- [ユーザーコード]

001

—ダイヤラー— || —機能—
変更 || 桁移動
- ④「機能」キーを押すと桁が変えられます。ダイヤルを回して好みの数字に合わせます。
 - ⑤「戻る」キーを押すとひとつ前の画面に戻ります。「PTT」キーを押すと確定して通信画面に戻ります。UCと設定したコードが運用画面に表示されます。
 - ⑥ユーザーコード画面で000とするとオフが表示され、ユーザーコード通信をしなくなり、UC：OFFが運用画面に表示されます。「戻る」キー長押しでもオフにできます。

ユーザーコード通信



信号は受信できているのに音声聞こえないときはまずグループコード設定に違いが無いかをご確認ください。

個別通信

セットモード「個別設定」の「個別通信動作」でオンを選択するとこの通信方式になります。複数の交信相手を図で示すように個人、グループ、全体と指定して呼び出すことができます。個人やグループのIDは無線機ごとに予め設定します。自分のIDやグループ番号はセットモードで変更できます。

個別通信の設定

- ①チャンネルを合わせます。
- ② P.17 の説明に従いユーザーコードを設定します。
- ③ セットモード「個別設定」の「個別通信動作」をオンにします。
- ④ 同じセットモードの「自局ID」を選び、自分のID番号を登録します。
- ⑤ 同じセットモードの「自局グループ」を選び、自分のグループ番号を登録します。
- ⑥ 同じセットモードの「通信相手選択」で通信相手を選択します。
- ⑦ 待受画面で「戻る」キーを押すことで個別、グループ、全局の順に通信相手を切り替えます。

※設定方法は P.31 にも記載がありますので合わせてご覧ください。

この手順を繰り返して、ユーザー全員の無線機のIDとグループ番号を登録します。

- 参考**
- セットモード「個別設定」の「ダイヤル動作」で「通信相手選択」を設定すると待受画面でダイヤルを回して相手局を選択できます。(P.31) チャンネルを固定して使用する場合に便利です。
 - 「個別設定」の「個別呼出切替」「グループ呼出切替」「全局呼出切替」で個別通信を受信したとき、通信相手を指定した時間だけ受信した相手局と同じに切替る設定ができます。(P.31)
 - ID設定後、セットモード「個別設定」の「個別通信動作」を全員がオフにするとシンプルなユーザーコード通信ができます。全員がオンに戻ると既に設定したIDで個別通信ができます。

注意 セットモード「表示設定」の「周波数表示」をオンに設定している場合「ダイヤル動作」で「通信相手選択」を選択しても通信相手の変更ができません。

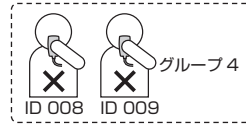
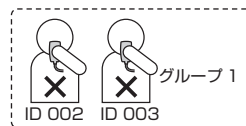
個別ID表示のとき

セットモード「個別設定」の「通信相手選択」で選択した個別IDの無線機を呼び出せます。

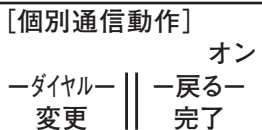
- 最大で200の個別IDが設定できます。
- 同じ個別IDを複数の人に割り当てることもできます。
この場合はグループ呼び出しのように同じ個別IDの人全員をまとめて呼び出します。



相手局の個別ID



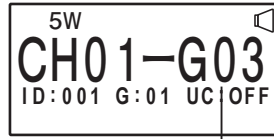
<例>
ID 番号 004 の人を呼び出したいとき



■グループ表示のとき

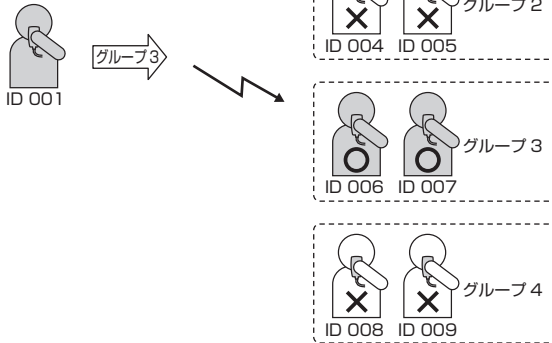
セットモード「個別設定」の「通信相手選択」で選択したグループの無線機を呼び出せます。

G01 ~ G10の10組、設定できます。



グループ番号

<例>
グループ3番のメンバーを
呼びたいとき

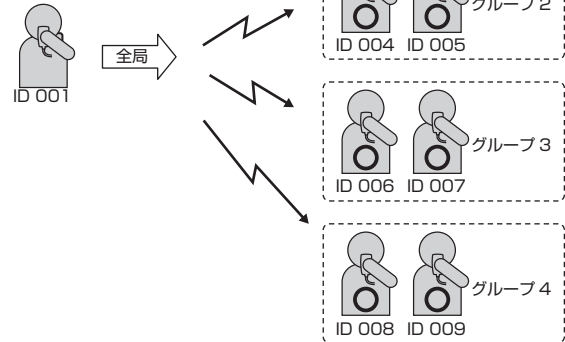


■全局表示のとき

全員を呼び出せます。



<例>
全員を呼びたいとき



6


便利な機能

..... アプリ無線機能

本機と Bluetooth 接続した専用のスマートフォンアプリ (Air-InCom/Air-InCom Lite) でインターネットを介して携帯電話と同じ範囲で通話できます。アプリの使用には別途契約が必要です。販売店または弊社のホームページをご覧ください。アプリ無線に接続する Bluetooth の通信範囲の目安は約 10m ですのでスマートフォンはその範囲内に置いてください。受信音量を最適に保つためスマートフォンの音量は常にセンター付近に設定してください。

重要 ・ アプリ無線の通話には 0.5 秒程度の遅延があり、電話回線の状態によってはそれ以上の遅延や通話の切断等の障害が発生することがあります。
 ・ 本機は別売の EMS87B などの Bluetooth ワイヤレスマイクには対応しません。

■ スマートフォンとの接続 (ペアリング) 及び専用アプリ (Air-InCom/Air-InCom Lite) との接続 (BLE 接続) について

- 本機の Bluetooth 機能をオンにしてペアリングモードにします。
 (初めてお使いの時は電源を入れるだけで、この項目の操作は不要です。)
1. セットモード「各種動作設定」の「Bluetooth」を選択、「機能」キーを押します。
 2. ダイヤルを回して、「オン」に設定します。Bluetooth 機能がオンになっていると、待受画面に  が表示されます。
 3. 一度電源をオフして「CH」キーを押しながら電源を入れると、インジケータが青色で早い点滅になり、ペアリングモードとなります。
 4. スマートフォン側の操作で本機とペアリングさせます。
 5. 本機とスマートフォンが接続できたら本機のインジケータが青色で遅い点滅に変わります。
 6. 次に PTT キーを有効にしてアプリ無線の送信ができるようにセットモード「各種動作設定」(P.36) の「BT 時 PTT 設定」を選択し、「アプリ送信」に設定します。
 7. 専用スマートフォンアプリの設定で、本機と BLE (Bluetooth Low Energy) 接続を行います。
- 本製品をペアリングモードにした後の BLE 接続方法は専用アプリの取扱説明書をお読みください。

注意 ペアリング機器が見つからない状態が 5 分続いたときは、Bluetooth 機能が自動的にオフとなります。

便利な機能

■ ペアリングモードの入り方

ペアリング情報が入っていない状態で電源を入れると自動的にペアリングモードになります。一度ペアリングした後に再度ペアリングモードに入るには、一度電源をオフにして「CH」キーを押しながら電源を入れます。「ペアリング中です。」とアナウンスがありますので、スマートフォン側の操作で本機とペアリングさせます。※ペアリング情報は 1 つしか保持出来ません。上書きすると古いペアリング情報は破棄されます。

■ PTT 設定について

セットモード「各種動作設定」(P.36) の「BT 時 PTT 設定」を選択し、「アプリ送信」を選ぶとマイクの PTT キーを押すことによりアプリ無線で送信できます。また、アプリ無線とデジタル簡易無線両方で同時に送信したい場合は「同時送信」を選びます。Bluetooth 接続時、PTT 設定がデジタル簡易無線になっている時は「DCR」、アプリ無線になっている時は「APP」、同時送信になっている時は「BOTH」と表示されます。「APP」または「BOTH」表示の時、PTT を押してマイクに話しかけることにより、アプリ無線の通話が可能となります。



■ アプリ無線専用チャンネル

アプリ無線専用チャンネルは CH82 と CH01 の間に「アプリ専用」と表示されます。このチャンネルはアプリ無線専用でデジタル簡易無線の送受信はできません。Bluetooth 機能をオフにしている場合はこのチャンネルを表示しません。PTT 設定も自動でアプリ送信になります。



参考

ペアリング後の動作について
 一度ペアリングしたスマートフォンとは、それ以降毎回ペアリングする必要はありません。
 下記の条件を満たしている場合、自動で接続します。

- ・ 無線機の Bluetooth 機能が「オン」
- ・ 無線機が待ち受け状態
- ・ スマートフォンの Bluetooth がオン

アプリ無線の送信方法については、別途専用スマートフォンアプリ (Air-InCom / Air-InCom Lite) の取扱説明書をお読みください。

注意 専用スマートフォンアプリ (Air-InCom / Air-InCom Lite) の PTT ホールド機能は OFF にして使用してください。本機が正しく動作しなくなります。なお、PTT ホールド機能を使用してアプリ無線での通話を行う場合は、本機の PTT ホールド機能 (P.33) を使用してください。

■ アプリ無線の受信

デジタル簡易無線のチャンネルに設定していても、アプリ無線の受信音声聞く事ができます。デジタル簡易無線とアプリ無線を同時に受信した場合はミックスされた受信音がスピーカーから聞こえます。

■ 電話がかかってきたとき

本機がスマートフォンに接続されているときに次の動作をすることで、電話の応答 / 拒否することができます。

[Android 端末使用時]

- ・電話が着信したときは、本機の「電源」キーを押して応答できます。通話を終わるときも本機の「電源」キーを押します。
- ・電話着信を拒否するときはスマートフォン側で操作してください。

[iPhone 使用時]

- ・専用アプリで通話していないときに電話が着信すると、本機の「電源」キーを押して応答できます。通話を終わるときも本機の「電源」キーを押します。
- ・専用アプリで通話中に着信したときは、本機の「電源」キーを押すと着信拒否して、専用アプリの通話を継続できます。

注意 ・ iPhone を使用して専用アプリで通話しているとき、iPhone の応答ボタンをタップすると電話に応答できますが iPhone での直接通話になります。通話を終了するときは iPhone で操作するか、本機の「電源」キーを押します。但し、この操作をするとう本機の通話ができなくなります。回復させるには iPhone の設定で Bluetooth 接続をオフにして、改めてオンにした後でペアリング・BLE 接続しなおしてください。

[推奨の設定]

- ・ iPhone の設定で「常時 Bluetooth イヤホンやマイクを使う」ように設定しておけば、上記の現象は起きません。設定方法はお使いの iPhone の説明書をお読みください。



参考

- ・上記の現象は、iPhone が通話に最適な状態に自動設定することで起こります。異常ではありません。
- ・スマートフォンの機種によっては本機での電話の応答 / 拒否及び終了ができないことがありますので、その場合はスマートフォン側で操作を行ってください。

注意 Bluetooth の通信は、周辺機器の影響で通信範囲が著しく変化したり、ペアリングが切断されることがあります。

- ・電子レンジなど
- ・無線 LAN
- ・他の Bluetooth 機器

このような場合は、ほかのワイヤレス通信を停止させたり、電子レンジなどの使用を中止したり、周辺機器との距離をはなすなどしてください。また、Bluetooth 機器と本製品の距離をできるだけ近づけると、通信状況が改善することがあります。

..... 簡易無線、アプリ無線中継機能

デジタル簡易無線で受信した音声信号をアプリ無線に、アプリ無線で受信した音声信号をデジタル簡易無線で自動送信というように、簡易無線とアプリ無線の中継動作を自動で行います。セットモード「各種動作設定」の「BT 中継機能」(P.36) で設定ができます。BT 中継機能オン時でも普通に送受信動作が可能です。中継器として設置した状態で受信音が気になる場合はボリュームを絞ってお使いください。オンにすると右下に「RPT」表示が点灯します。



注意 アプリ無線からデジタル簡易無線への中継動作は、Bluetooth 接続されたスマートフォンの音声を検出して送信動作を行っております。このため、受信した音声小さすぎると送信されないこともあります。また、下記状態のときに送信されることがありますが、異常ではありません。

- ・スマートフォンで、アラームなどの無線アプリと関係のない音が鳴ったとき。
- ・Bluetooth の接続完了及び、切断完了を知らせるガイダンスが鳴ったとき。
- ・無線アプリ (Air-InCom / Air-InCom Lite) を使用中に音声とは関係のない着信音、切断音、第三者が参加をしたことを知らせる参加音などが鳴ったとき。

..... キーロック

使用時に誤ってキーが操作されることを防ぐ機能です。「戻る」キーを長押しするとキーロックが設定され、ディスプレイに「鍵アイコン」が点灯します。キーロック時、「PTT」キー、短縮動作の一部、「緊急通報機能」、電源の入 / 切の操作のみが可能です。キーロックを解除するときはもう一度「戻る」キーを長押しして「鍵アイコン」を消してください。



モニター機能

「短縮動作」にモニター機能を設定している場合、「CH」キーを長押しすると、設定したチューナーコードに関わらず音声をモニターできる機能です。同じ操作を繰り返すと解除できます。

注意 秘話通信を設定している信号をモニターしても「ギャラギャラ」とノイズのような音が鳴り続け通話内容を聞き取ることができません。モニター中に出るザーという音は時々途切れることがあります。イヤホンやスピーカーの接触不良と誤解することがありますが、異常ではありません。

秘話通信

秘話コードの一致した無線機間でのみ発信できる機能です。セットモード「通信設定」の「秘話コード」で32,767通りの秘話コードをお使いいただけます。この秘話は他社の無線機ともコードを合わせば通信ができます。

[秘話コード]
12345
—ダイヤル— || —機能—
変更 || 桁移動

注意 秘話コードが一致しないときは「ギャラギャラ」とノイズの様な音が鳴り続けます。

強化秘話通信

セットモード「通信設定」の「秘話タイプ」で設定します。秘話コード設定で秘話通信が設定されている場合に秘話タイプから強化秘話を選択することで秘話通信機能を強化して秘匿性を高める機能です。


通常の秘話コード32,767通りとは別に15通りの秘話タイプを追加することで、491,505通りの秘話コードとなります。

通常の秘話コードを一致させた上で、強化秘話を一致させないと通信はできません。弊社製の、強化秘話対応機種間のみで通話できます。

[秘話タイプ]
強化秘話○○
—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

注意 ・標準秘話は弊社製 DJ-DPS50、DR-DPM50 及び他社製デジタル簡易無線機と同じ秘話キーにて通話できますが、強化秘話はこれらの無線機とは通話できません。

プライベートチャンネル機能

よく使うチャンネルへのショートカットです。セットモード「各種動作設定」の「短縮動作」をプライベートCHに設定し、同じセットモードの「プライベートCH設定」にてよく使うチャンネルを設定してご利用ください。「CH」キーを長押しすると設定された、プライベートチャンネルに移行します。(このときディスプレイにアイコンが点灯します) もう一度「CH」キーを押し続けると元のチャンネルに戻りプライベートチャンネルを解除します。

5W 呼出 15 UC:OFF
DCR P

スキャン機能

自動的にチャンネルを切り替えて通話の行われているチャンネルを探ることをスキャンと呼びます。セットモード「各種動作設定」の「短縮動作」でスキャンを設定しているときに、「CH」キーを長押しすることでスキャンを開始します。

信号を受信するとスキャンは自動的に止まり、同じセットモードの「スキャンタイプ」で設定した条件で再開します。

スキャン方向はマイクのUP/DOWNキーで変更できます。スキャン中は画面右下にスキャンと表示されます。

同じセットモードの「スキャンCH設定」でチャンネルごとにスキャンまたはスキップの設定ができます。

5W CH 01 UC:OFF
DCR スキャン

緊急通報機能

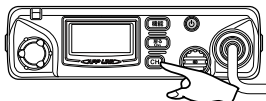
異常や事故など緊急の事態を知らせる機能です。

- 緊急通報の受信を許可するセットモード「緊急動作設定」の「受信の許可禁止」で「許可」を選択します。弊社製の本機能対応機であれば台数に関係なく設定できます。

- 緊急通報をする（送信する）送信させたい無線機全てに予めセットモードの「各種動作設定」で「短縮機能」の「緊急」を選択しておきます。通報するときは待受画面で「CH」キーを長押しします。自分・相手ともアラーム音がなり、個別通信時は相手に自分の ID を知らせます。

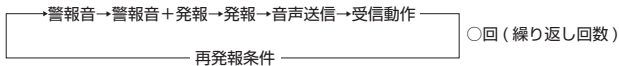
自分は今もう一度「CH」キーを長押し、相手は「PTT」キーを押すことでアラームが止まり表示が通常に戻ります。

拡張セットモードの「緊急動作設定」の「緊急動作」で「本体+マイク」を選択することで、付属マイク EMS-61 でも操作できます。EMS-61 の UP キーと DOWN キーをアラーム音が鳴るまで同時に長押しすると通報、同じ操作で通常に戻ります。



緊急通報動作

初期値の緊急動作は警報音鳴動と相手への警報報 30 秒の動作ですが、拡張セットモード「緊急動作設定」でより細かな設定ができます。設定した項目は順番に動作します。不要な項目はオフを選びます。



- 警報音のみ …自身で警報音を鳴らす
- 警報音+発報 …自身と通信相手の警報を鳴らす
- 発報のみ …自身は鳴らさずに通信相手のみ警報を鳴らす
- 音声送信 …周囲の音声を送信します。
- 受信動作 …相手からの音声を受信します。
- 繰り返し回数 …一連の動作の繰り返し回数です。
- 再発報条件 …ショックセンサーでの警報を再発報させる条件です。

ショックセンサー機能

本体が傾きまたは衝撃を検知した際に緊急通報を行います。拡張セットモード「ショックセンサー機能」の「動作モード」よりオフ、転倒検出モード、振動検出モードから選択します。振動検出モードではその画面で「CH」キーを押すと 10 秒後に動作開始します。

転倒検出モード：

本機フロントパネルに傾きが検出された場合に緊急動作をします。セットモード「ショックセンサー機能」の「検出方向」にてどの方向への傾き、同じセットモードの「傾斜判定角度」にてどの程度の傾きで動作させるかの設定ができます。

有効にした軸に一定の加速度 (G) を感じるとセンサーが反応します。無線機を寝かせて使う場合は「左右+前後」が適しています。上下方向には常に重力加速度が掛かることになるので、上下の軸を有効にすると、反応し続けることになるためです。

振動検出モード：

本機に衝撃が検出された場合に緊急動作をします。同じセットモードの「衝撃判定強度」にてどの程度の衝撃で動作させるかの設定ができます。

注意 ・これらのセンサー機能の精度は保証していません。個体による感度のばらつきもございます。あくまで目安としてお使いください。
・実用される前に十分実験して、誤報など無いように設定してからお使いください。

通話録音機能

拡張セットモード「録音機能」を P.32 にしたがって「録音動作設定」と「録音停止時間」を設定します。

「録音動作設定」で設定した送信または受信したときに録音が始まります。送信または受信が停止して「録音停止時間」で設定した時間が経過すると録音が停止されます。

同じセットモードの「録音データ一覧」でダイヤルで再生したい録音データを選び「機能」キーを押すと再生できます。(P.32)

31 件の受信音声や送信音声を録音できます。録音可能時間は保存件数に関係なく約 35 分が上限です。

録音件数や録音時間を超えた場合、古い録音から自動的に消去されます。

録音音声を再生しているときに通話を受信した場合は、再生を停止して受信音声を出力します。

ユーザーコードの不一致や個別通信の相手ではない場合は信号を受信していても再生を継続します。

再生中に送信した場合は再生を停止します。

[録音データ一覧]

着	UC	01:35 ▲
不	個123	00:16
発	*全局	02:10 ▼



呼出形態

録音された通信が呼び出されたのか、または呼び出したのかを表します。状態は漢字 1 文字で以下のように表示されます。

- 着…受信のみ
- 不…受信のみ (個別通信で個別番号を指定して呼ばれたとき)
- 発…送信のみ
- 呼…送信をして応答があった場合
- 応…受信をして応答した場合

未再生表示

まだ再生していない録音には * マークが表示されます。

注意 アプリ無線の通話は録音することができません。

通信形態

録音された通信がどのような通信だったかを表します。

- UC ……ユーザーコード通信時に表示されます。
- 全局 ……個別通信設定時に全局指定の呼出しを受信するか、全局指定で送信した場合に表示されます。
- グ-○○ ……個別通信設定時にグループ番号○○で呼出しを受信するか、グループ番号○○で送信した場合に表示されます。
- 個○○○ ……個別通信設定時に個別番号○○○から個別番号を指定して呼ばれるか、個別番号○○○を指定して呼んだ場合に表示されます。

録音時間

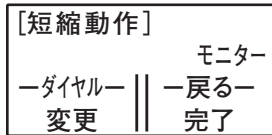
録音時間が分 : 秒で表示されます (無通信時の無音時間は含まれません)

短縮動作

セットモード「各種動作設定」の短縮動作で、「CH」キーを長押ししたときの動作を選択できます。

モニター、スキャン、送信出力切替、緊急、プライベート CH、音量 固定・連動、最終録音再生、BT 時 PTT 設定があります。

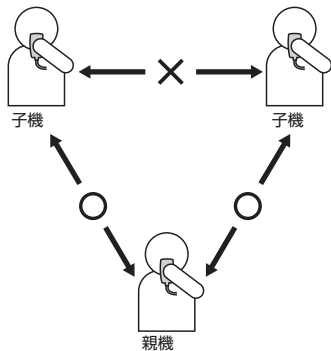
* マークの機能はキーロック中も動作します。



- モニター * ……モニター機能 (P.22) の動作をします。
- スキャン ……スキャン設定されている CH をスキャンします。
- 送信出力切替 ……押す毎に送信出力を切り替えることができます。
- 緊急 * ……3 秒押し続けると緊急通報機能が動作します。
- プライベート CH ……プライベート CH (P.22) に切り替えます。
- 音量 固定・連動 ……音量を一時的に固定化します。固定化させる音量はセットモードの「固定音量レベル」で設定した値です。
- 最終録音再生 ……最後に録音されたデータを再生します。
- BT 時 PTT 設定 * ……アプリ無線に接続時、PTT キーを押したときにデジタル簡易無線送信、アプリ無線送信、または両方で送信するを選ぶことができます。

子機間通話禁止機能

親機と子機間のみ通信可能にし、子機どうしの通信はできません。
 (子機設定のときはディスプレイに「子機アイコン」が点灯します)
 子機同士を通話できなくさせることで、管理者(親機)が子機を指揮しやすくする通話方法です。子機同士が話した間違えた情報が拡散するのを防ぐ等のメリットがあります。
 セットモード「通信設定」の「親機子機切替」で設定します。
 「親機子機切替」は拡張セットモードの項目です。(P.30)
 親機は複数設定でき、親同士は通信可能です。



 この機能を使わないときは全ての無線機を親機に設定してください。

受信音質調整機能

受信音声の音質を調節できます。
 聞き取りやすいと感じるように設定してください。
 セットモード「受信設定」の「低音域抑制」、「高音域抑制」それぞれで抑制レベルを設定します。

[○音域抑制]
 抑制レベル○
 —ダイヤル— || —戻る—
 変更 || 完了

受信低下通知機能

受信信号が弱くなったらピープ音で知らせます。通話できなくなる可能性を事前に知らせしてくれる機能です。
 セットモード「通知/警告設定」の「受信低下通知」で設定します。

[受信低下通知]
 オフ
 —ダイヤル— || —戻る—
 変更 || 完了

受信音量一定化機能

送り手により異なる声の大きさを一定化してからスピーカやイヤホンに出力することで、音声を聞き取りやすくします。
 セットモード「受信設定」の「音量一定化」で設定します。

[音量一定化]
 小音増幅強
 —ダイヤル— || —戻る—
 変更 || 完了




大音抑制



小音増幅弱



小音増幅強

 小音増幅時には、自動的に大音抑制機能も動作します。

..... ノイズキャンセル機能

音声以外のノイズを除去して音声の明瞭度を上げる機能です。
騒音の大きい環境で効果があります。
セットモード「送信設定」の「ノイズキャンセル機能」で設定します。

[ノイズキャンセル機能]
効果
-ダイヤル- || -戻る-
変更 || 完了



・ノイズキャンセル機能は、マイクで受けた音声と本体スピーカー部のノイズマイクで受けた環境音を比較して、ノイズ成分を打ち消す音声波形を当てる処理をするもので、DSP 処理で行うノイズ抑制とは別の機能です。



注意 ・本体スピーカー部を塞がないよう注意してください。
・最適な効果が得られるのは口とマイクの距離が 5cm 程度離れている状態です。
・突発的な物音などはノイズキャンセルできません。
・騒音が少ない場所では、送信音声がいささか小さかったり、歪んだりすることがあります。その場合はノイズキャンセル機能をオフにすることをおすすめします。
・ノイズによっては効果大に設定しても効果が感じられない場合があります。

..... ノイズ抑制機能

音声に含まれるノイズ成分を抑えて音声を際立たせる機能です。
セットモード「送信設定」の「ノイズ抑制機能」で設定します。
「ノイズ抑制機能」は拡張セットモードの項目です。

[ノイズ抑制機能]
オン
-ダイヤル- || -戻る-
変更 || 完了



・この機能は、マイクに入った音声をデジタル処理してノイズ成分を抑える機能で、ノイズキャンセル機能とは異なります。



注意 ・ノイズの種類によっては効果が弱く感じられることがあります。
・雑音を抑えるまで時間がかかることがあります。
・周囲の音を把握するような場合、本機能が音が消えてしまうため、オフに使用してください。

..... デュアルオペレーションモード

メイン/サブの 2 つのチャンネルを交互に受信し、そのどちらとも通信することができるモードです。
拡張セットモードの「デュアルオペレーション」の「動作設定」をオンにして、同じセットモードの「メイン CH 設定」、「サブ CH 設定」を設定します。(P.37)

[動作設定]
オン
-ダイヤル- || -戻る-
変更 || 完了

待受画面の CH01 から 1CH 下がるとデュアルオペレーションモードとなり受信を開始します。
受信終了後に動作再開する時間を同じセットモードの「再開時間設定」で設定することができます。
メイン CH とサブ CH の切り替え時間は同じセットモードの「CH 切替間隔」で設定することができます。終了するには「デュアルオペレーション」の「動作設定」をオフにします。

送信

メイン CH で送信する場合は「PTT」キーを押します。サブ CH で送信する場合は、「PTT」キーを二度押しします。
通話が終わってから、再開時間が経過すると交互待ち受けを再開します。

[メイン CH 設定]
CH01
-ダイヤル- || -戻る-
変更 || 完了

受信

メイン側を受信すると「メイン側入感あり」と表示され、「ピッ」音が鳴ります。
また、サブ側を受信すると「サブ側入感あり」と表示され、「ピピッ」音が鳴ります。

[サブ CH 設定]
CH02
-ダイヤル- || -戻る-
変更 || 完了



・アプリ専用 CH は設定できません。

..... ショートメッセージ機能

通信相手にショートメッセージを送信できる機能です。

この機能を使用するには、受け側が拡張セットモード「ショートメッセージ機能」の「受信の許可禁止」を許可に設定している必要があります。

メッセージを送信するには拡張セットモード「ショートメッセージ機能」の「メッセージ送信」よりあらかじめ用意された4種類の文章の中から「機能」キーで選択し、もう一度「機能」キーを押すと「送信中」と表示されます。

送信が完了すると「送信完了」と表示されます。受信時は待受画面にアイコンが表示されます。

同じセットモードの「受信時自動表示」をオンにすると受信したメッセージを自動で表示します。「戻る」キーを押すと待受画面に戻ります。

受信メッセージ一覧では今までの通信記録が確認できます。保存件数は4件までです。


通信相手…個別通信時に送信相手の個別IDを表示します。

通信形態…呼び出された通信がどのような通信だったかを表示します。

- UC → ユーザーコード通信時
- 個 → 個別通信の個別呼出時
- グ → 個別通信のグループ呼出時
- 全 → 個別通信の全局呼出時

[受信メッセージ一覧]
 ---UC*了解しま
 001個 連絡くだ
 001グ 出発しま▼



 パソコンを使った編集ソフトでメッセージの内容を編集できます。ソフトは弊社HPから無償でダウンロードできますが、別売のパソコン接続ケーブルERW-7が必要です。

..... エアクローンモード

未設定のDR-DPM62W(クローン機)を、設定が済んだDR-DPM62W(マスター機)から無線で任意の台数を一度にクローンできます。クローン機はどんな設定になっていても、全てマスター機の設定に書き換えられます。

- ① マスター機にする1台に、必要な設定を行います。
- ② マスター機も子機も全て、「機能」[CH]の2つのキーを同時に押したまま電源を入れ、機種名表示の後に指を離して、「[エアクローン] CHキー長押しで送信 [CH**]」を表示させます。
- ③ ダイヤルで親機、子機とも同じ空きチャンネルの番号に合わせます。子機側は何もしません。マスター機の「CH」キーを長押しすると送信が始まり、マスター機は「データ送信中」、子機は「データ受信中」と、進行状態が表示されます。
- ④ クローンが成功するとマスター機は「データ送信完了」、子機は「データ受信完了」を表示してピープ音を2回鳴らします。子機の電源を入れなおして設定が正しくクローンされているか確かめます。作業が終わったら電源を切ります。

[エアクローン]
 CHキー長押しで送信
 [CH**]

注意

- ・エアクローンにかかる時間は45秒～50秒ほどです。
- ・初期値ではエアクローンモードになるとCH82を自動的に選択します。エラーになるときはCH82に強い電波が出ている可能性があります。この時はエアクローンモードで「▼/▲」キーを押し、全ての無線機のチャンネルを手動で変えてください。CH26～30、CH71～82が総務省の推奨するデータ通信用チャンネルです。
- ・マスター機の送信中に再度「CH」キーを長押しすると、クローンを中止できます。
- ・クローンが中断されたり失敗したりした子機は「データ受信失敗」と表示されます。改めてマスター機の「CH」キーを長押しして送信すると、最初からクローンを再開します。「CH」キーを押すタイミングによっては子機が反応しなかったり、ピープ音が鳴ったりすることがありますが異常ではありません。少し間をおいてリトライしてください。

注意 ・ 失敗した状態で子機の電源を切り、再度電源を入れると「受信失敗したからもう一回最初から送り直してください」と表示されます。マスター機の「CH」キーを長押しすると最初からクローンを再開します。

・ エラー状態の子機でも、電源を切って「機能」と「戻る」キーを同時に押しながら電源を入れて「機能」キーを押すリセットをすれば初期状態で起動します。クローンエラーが無線機の故障の原因になることはありません。



参考

・ クローン機にアンテナを接続すると混信を受けて、エラーになる可能性が高くなります。同じ机の上に並べてその前から送信する程度の距離であれば、クローン側はアンテナを外していてもエアクローンできます。

..... 呼出切替機能

個別通信で呼び出されたとき、返事をするため通話相手を自動で切り替える機能です。

個別で呼び出されたときはその相手に、グループで呼び出されたときはそのグループに、全局で呼び出されたときは全局に切り替わります。切り替わった後、設定した時間内に送受信が無ければ元の状態に戻ります。

拡張セットモード状態で「個別設定」の「個別呼出切替」、「グループ呼出切替」、「全局呼出切替」で切り替わる時間の設定をします。

..... リセット

電源を切り、「機能」キーと「戻る」キーを押しながら電源を入れます。「RESET」が表示されたら「機能」キーを押します。すべての設定が初期化されます。「機能」キー以外のキーを押すとリセット操作をキャンセルして起動します。

RESET
実行→機能キー
中止→その他のキー



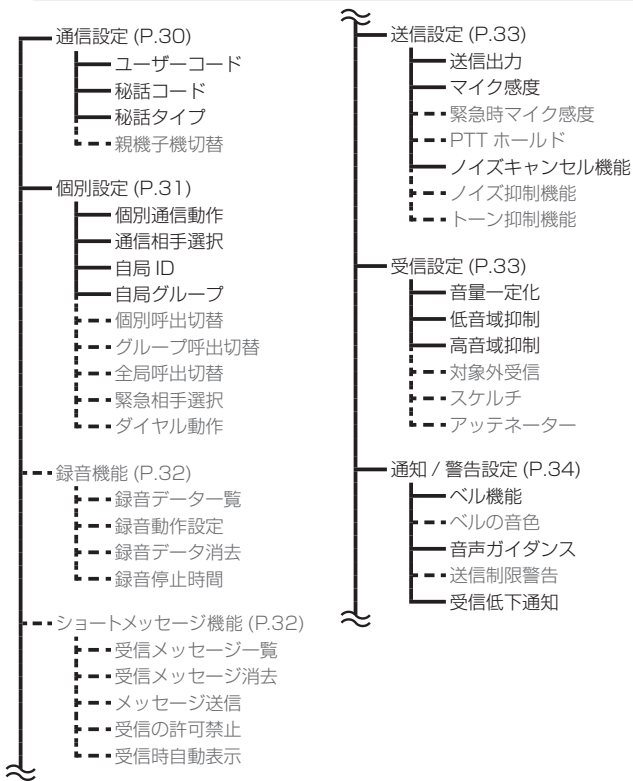
参考

・ 拡張セットモードを含めて初期化されます。
・ Bluetoothのペアリング情報も初期化されます。
・ 販売店によって納入前に各設定がプログラミングされているときは、リセットが使えないことがあります。

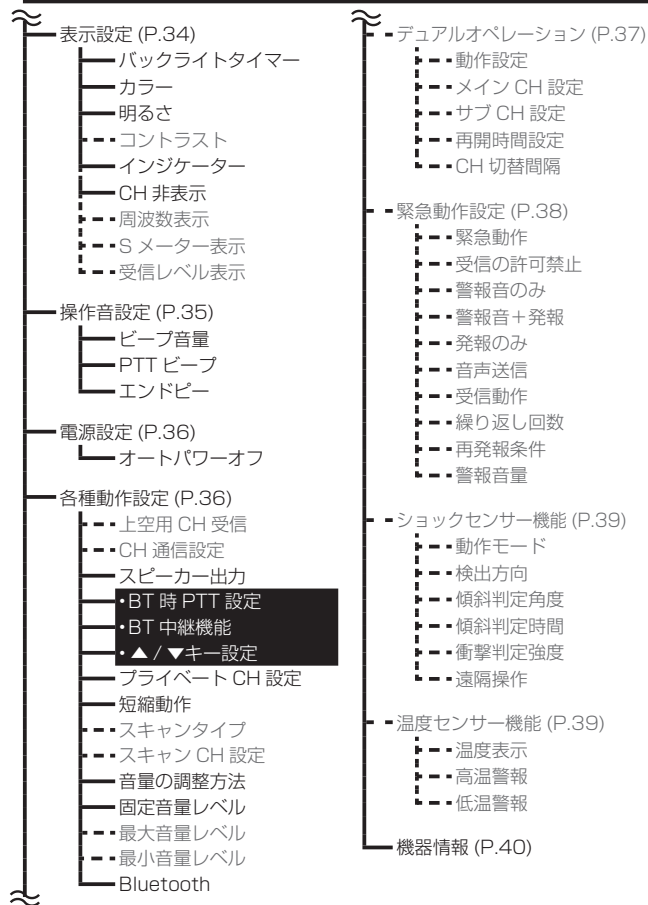
7

セットモード

..... セットモード一覧



セットモード



・点線部分は次のページの拡張セットモードにて設定操作をすると表示され、使えるようになります。
 ・反転文字は Bluetooth 対応機能のため Bluetooth オン時のみ表示されます。

..... セットモード基本操作

本機をもっと使いやすくするために、各種機能の動作をカスタマイズできます。

■ セットモードの設定方法

- ① 待受画面で「機能」キーを押してセットモードに入ります。
- ② ダイヤルを回して設定したい項目に合わせ、「機能」キーで項目の選択をします。ダイヤルの代わりにマイクのUP/DOWNキーを押しても同じ操作ができます。
- ③ 設定した項目を開いたら、ダイヤルを回して設定値を変更します。ダイヤルを回して設定値を変更した時点で変更内容が反映されます。
- ④ 「戻る」キーを押すと一段階戻ります。「PTT」キーを押すとセットモードを終了して通常の表示に戻ります。

■ 拡張セットモードの設定方法

- ① 一度電源をオフにして、「機能」キーを押しながら電源をオンにします。
- ② 「拡張設定有効？」と表示されます。「機能」キーを押すと拡張セットモードが有効になります。
- ③ セットモードに入ると設定項目が増えた拡張セットモードになっています。
- ④ 拡張セットモードを通常のセットモードに戻すときも同様の操作で、「拡張設定無効？」と表示されます。「機能」キーを押すと通常のセットモードになります。拡張セットモードの設定項目を変更した場合、変更は適応されたまま通常セットモードに戻ります。拡張セットモードだけの設定項目をまとめてリセットしたり保存したりすることはできません。



・拡張セットモード時はセットモードに入ったときに[セットモード+]と表示されます。

..... セットモード

セットモードで設定できる機能の内容と、選べる値の一覧です。

- * マークが付いている項目は拡張セットモードの設定項目です。
- ** マークが付いている項目は Bluetooth に対応してる項目で、Bluetooth オンにすると表示されます。

注意・送受信系に関わる機能は PTT ホールドを除きデジタル簡易無線にしか使用できません。

■ 通信設定

● ユーザーコード

ユーザーコードを設定します。「機能」キーを押すと桁移動をします。初期値はオフです。「戻る」キー長押しで設定したコードとオフを切り替えます。

オフ / 001 ~ 511

[ユーザーコード]		オフ
—ダイヤル—		—機能—
変更		桁移動

● 秘話コード

秘話通信で使用する秘話キーを設定します。「機能」キーを押すと桁移動をします。初期値はオフです。「戻る」キー長押しで設定したコードとオフを切り替えます。

オフ / 00001 ~ 32767

[秘話コード]		オフ
—ダイヤル—		—機能—
変更		桁移動

● 秘話タイプ

強化秘話通信を使用するときに選択します。初期値は標準秘話です。

標準秘話 / 強化秘話 01 ~ 15

[秘話タイプ]		標準秘話
—ダイヤル—		—戻る—
変更		完了

● 親機子機切替*

子機間通話禁止機能を選択します。初期値は親機です。

親機 / 子機

[親機子機切替]		親機
—ダイヤル—		—戻る—
変更		完了

■個別設定

●個別通信動作

個別通信機能を使うときにオンにします。初期値はオフです。

オフ/オン

[個別通信動作]
オフ
-ダイヤル- || -戻る-
変更 || 完了

●通信相手選択

個別通信の相手を設定できます。「機能」キーを押すことで桁移動ができます。初期値は全局です。

個別 001 ~ 200/ グループ 01 ~ 10/ 全局

[通信相手選択]
全局
-ダイヤル- || -戻る-
変更 || 完了

●自局 ID

個別通信で使用する自分用の ID を設定します。初期値は 001 です。

001 ~ 200

[自局 ID]
001
-ダイヤル- || -戻る-
変更 || 完了

●自局グループ

個別通信で使用する自分用のグループを設定します。初期値は 01 です。

01 ~ 10

[自局グループ]
01
-ダイヤル- || -戻る-
変更 || 完了

●個別呼出切替*

個別通信で個別呼出された後の切替動作を選択します。初期値はオフです。

オフ/5秒/10秒/30秒/60秒/完全切替

[個別呼出切替]
オフ
-ダイヤル- || -戻る-
変更 || 完了

●グループ呼出切替*

個別通信でグループ呼出された後の切替動作を選択します。初期値はオフです。

オフ/5秒/10秒/30秒/60秒/完全切替

[グループ呼出切替]
オフ
-ダイヤル- || -戻る-
変更 || 完了

●全局呼出切替*

個別通信で全局呼出された後の切替動作を選択します。初期値はオフです。

オフ/5秒/10秒/30秒/60秒/完全切替

[全局呼出切替]
オフ
-ダイヤル- || -戻る-
変更 || 完了

●緊急相手選択*

個別通信で緊急通報動作時の通報相手を設定します。初期値は全局です。

無し/ 個別 001 ~ 200/ グループ 01 ~ 10/ 全局

[緊急相手選択]
全局
-ダイヤル- || -戻る-
変更 || 完了

●ダイヤル動作*

個別通信時の CH 切り替え時のダイヤル動作を選択します。初期値はチャンネル選択です。

チャンネル選択 / 通信相手選択

[ダイヤル 動作]
チャンネル選択
-ダイヤル- || -戻る-
変更 || 完了

■ 録音機能 *

● 録音データ一覧 *

録音したデータを再生できます。
ダイヤルでデータを選び「機能」キーで再生します。

[録音データ一覧]
着 UC 01:35 ▲
不 個123 00:16
発*全局 02:10 ▼

● 録音動作設定 *

録音するときの動作条件を選択します。
初期値はオフです。

オフ / 全て録音 / 全局通話のみ録音 / 全局+グループ録音 / 全局+個別録音 / 個別通話のみ録音 / 個別+グループ録音 / グループのみ録音

[録音動作設定]
オフ
-ダイヤル- || -戻る-
変更 || 完了

● 録音データ消去 *

「機能」キーを押すと録音したデータを消去できます。

[録音データ消去]
録音を消去?
-機能- || -戻る-
消去 || キャンセル

● 録音停止時間 *

通信が終了してから何秒後に録音を停止するか選択します。停止までに通信があれば、録音は再開されます。初期値は10秒です。

1秒 / 5秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒

[録音停止時間]
10秒
-ダイヤル- || -戻る-
変更 || 完了

■ ショートメッセージ機能 *

● 受信メッセージ一覧 *

受信したショートメッセージを確認できます。ダイヤルでデータを選び「機能」キーで確認します。

[受信メッセージ一覧]
--- UC* 了解しま
001個 連絡くだ
001グ 出発しま ▼

● 受信メッセージ消去 *

「機能」キーを押すと受信したショートメッセージを消去できます。

[受信メッセージ消去]
メッセージを消去?
-機能- || -戻る-
消去 || キャンセル

● メッセージの送信 *

ショートメッセージを送信します。ダイヤルでメッセージを選び「機能」キーで選択、もう一度「機能」キーを押すとメッセージを送信します。

[メッセージ送信]
1: 了解しました
2: 連絡ください
3: 出発します ▼

● 受信の許可禁止 *

ショートメッセージを受信させるかどうか選択します。初期値は禁止です。

禁止 / 許可

[受信の許可禁止]
禁止
-ダイヤル- || -戻る-
変更 || 完了

● 受信時自動表示 *

ショートメッセージ受信時に自動で表示させるかどうか選択します。初期値はオンです。

オフ / オン

[受信時自動表示]
オン
-ダイヤル- || -戻る-
変更 || 完了

■送信設定

●送信出力

送信出力を選択します。
初期値は5Wです。

受信のみ / 1W/2W/5W

[送信出力]	
	5W
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

●マイク感度

マイクの感度を変更できます。初期値は0dBです。

-15dB(最小)/-12dB/-9dB/
-6dB/-3dB/0dB/+3dB/+6dB/
+9dB/+12dB(最大)

[マイク感度]	
	0dB
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

●緊急時マイク感度*

緊急動作時のマイクの感度を変更できます。初期値は0dBです。

-15dB(最小)/-12dB/-9dB/
-6dB/-3dB/0dB/+3dB/+6dB/
+9dB/+12dB(最大)

[緊急時マイク感度]	
	0dB
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

●PTT ホールド*

「PTT」キーを一度押すと送信を継続し、もう一度押すと解除される機能です。初期値はオフです。
EMS-500/501は対応していません。

オフ / オン

[PTTホールド]	
	オフ
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

●ノイズキャンセル機能

ノイズキャンセルの強さを選択します。初期値はオフです。

オフ / 効果小 / 効果中 / 効果大

[ノイズキャンセル機能]	
	オフ
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

●ノイズ抑制機能*

ノイズ抑制機能を動作させるかどうか選択します。初期値はオンです。

オフ / オン

[ノイズ抑制機能]	
	オン
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

●トーン抑制機能*

サイレンのような一定周期で鳴る騒音を軽減します。騒音の種類によって効果は変わります。初期値はオフです。

オフ / オン

[トーン抑制機能]	
	オフ
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

■受信設定

●音量一定化

受信した音の大きさを均一化させる機能です。初期値はオフです。

オフ / 大音抑制 / 小音増幅弱 / 小音増幅強

[音量一定化]	
	オフ
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

●低音域抑制

受信した音声の低音域を抑制する機能です。初期値はオフです。

オフ / 抑制レベル弱 / 抑制レベル強

[低音域抑制]	
	オフ
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

●高音域抑制

受信した音声の高音域を抑制する機能です。初期値はオフです。

オフ / 抑制レベル弱 / 抑制レベル強

[高音域抑制]	
	オフ
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

●対象外受信*

ユーザーコード通信や秘話通信中は他の信号が聞こえません。オンにするとその状態を保持しながら設定外の信号も受信します。一部条件があり、全ての通話の受信を保証する機能ではありません。

オフ/オン

[対象外受信]

オフ
—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●スケルチ*

設定値を大きくすると不要な信号に対するアンテナ表示とスキャン速度低下への影響を小さくできますが、弱い信号の反応がしにくくなります。0にすると常時モニター動作となります。初期値は5です。

0~9

[スケルチ]

5
—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●アッテネーター*

非常に強い信号が近くにあり、受信妨害を受けている時だけオンにします。受信感度を意図的に約10dB悪くするので通常は初期値のオフで使います。

オフ/オン

[アッテネーター]

オフ
—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

■通知 / 警告設定

●ベル機能

信号を受信したときにベル音とアイコンを点滅させて知らせます。初期値はオフです。

オフ/オン

[ベル機能]

オフ
—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●ベルの音色*

ベル機能のベルの音色を設定します。3種類の中から選択できます。初期値は1です。

1:ピロロロロ♪ / 2:ブッブッブッ♪ /
3:ピピッピッ

[ベルの音色]

1:ピロロロロ♪
—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●音声ガイダンス

音声ガイダンスの動作条件を選択します。初期値は全てです。

オフ/CH案内のみ/音量案内のみ/
CH+音量案内/操作案内のみ/全て

[音声ガイダンス]

全て
—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●送信制限警告*

送信制限の5分が近いことをお知らせする機能です。初期値はオンです。
30秒前:「ビビビ」
5秒前:「ピー」

オフ/オン

[送信制限警告]

オン
—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●受信低下通知

受信感度が低下したときにビーブ音でお知らせする機能です。初期値はオフです。

オフ / やや弱い時 / 弱い時 / かなり弱い時

[受信低下通知]

オフ
—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

■表示設定

●バックライトタイマー

バックライトを何秒後に消灯するか選択します。初期値は常灯です。

消灯 / 5秒 / 10秒 / 30秒 / 60秒 / 常灯

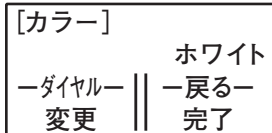
[バックライトタイマー]

常灯
—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●カラー

ディスプレイのバックライトの色を切り替えます。初期値はホワイトです。

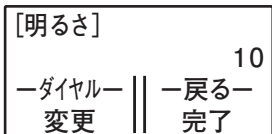
ホワイト/レッド/ブルー/グリーン/パープル/イエロー/ライトブルー



●明るさ

ディスプレイの明るさを切り替えます。初期値は 10 です。

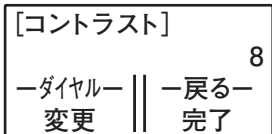
オフ/1 ~ 10



●コントラスト*

ディスプレイの濃さを設定します。初期値は 8 です。

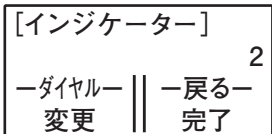
1 ~ 10



●インジケーター

インジケーターの明るさを切り替えます。初期値は 2 です。

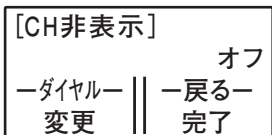
オフ/1 ~ 3



●CH 非表示

操作後の時間経過で CH などの通信設定の表示を隠す機能です。初期値はオフです。

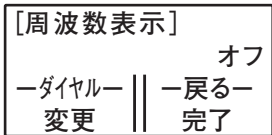
オフ/5 秒/10 秒/30 秒/60 秒



●周波数表示*

CH 表示の代わりに周波数を表示する機能です。初期値はオフです。

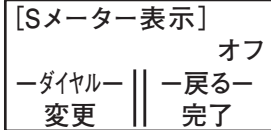
オフ/オン



●S メーター表示*

待受画面の下部に S メーターを表示する機能です。P.14 の⑨~⑭アイコンは表示されなくなります。初期値はオフです。

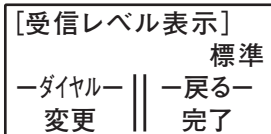
オフ/オン



●受信レベル表示*

受信レベルを表示するアンテナマーク及び S メーターの動作する信号の種類を選択します。「標準」では目的の信号のみ、「拡張」ではノイズを含めたすべての信号にて動作します。初期値は標準です。

標準/拡張



■操作音設定

●ビープ音量

ビープ音量を設定します。初期値はレベル 3 です。

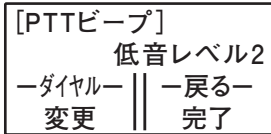
オフ/ボリューム連動/レベル 1 ~ レベル 10



●PTT ビープ

送信開始直後に「ピッ」と小さく音を鳴らします。この後から話し始めると通話の頭切れを防げます。音は送信されません。初期値は低音レベル 2 です。

オフ/低音レベル 1/高音レベル 1/低音レベル 2/高音レベル 2/低音レベル 3/高音レベル 3



● **エンドピー**

受信終了後に「ピッ」と鳴らして通信の終わりを伝える機能です。初期値は低音レベル2です。

オフ / 低音レベル 1 / 高音レベル 1 / 低音レベル 2 / 高音レベル 2 / 低音レベル 3 / 高音レベル 3

[エンドピー]	
低音レベル2	
-ダイヤル-	-戻る-
変更	完了

■ **電源設定**

● **オートパワーオフ**

電源の切り忘れを防ぐ機能です。無操作の状態が設定された時間続くと、自動的に電源が切れます。初期値はオフです。

オフ / 30分 / 1時間 / 2時間 / 3時間 / 4時間 / 5時間 / 6時間 / 7時間 / 8時間 / 9時間 / 10時間 / 11時間 / 12時間

[オートパワーオフ]	
オフ	
-ダイヤル-	-戻る-
変更	完了

■ **各種動作設定**

● **上空用CH受信***

上空用CH(S1～S15)を受信する機能です。初期値はオフです。

オフ / オン

[上空用CH受信]	
オフ	
-ダイヤル-	-戻る-
変更	完了

● **CH通信設定***

ユーザーコード、秘話コード、秘話タイプ、送信出力の4項目を、チャンネルごとに別の設定にしたいときは各CHで個別設定を選びます。初期値は全CHで共通設定です。

全CHで共通設定 / 各CHで個別設定

[CH通信設定]	
全CHで共通設定	
-ダイヤル-	-戻る-
変更	完了

● **スピーカー出力**

どのスピーカーを鳴らすか選べます。初期値は本体です。

本体 / スピーカーマイク / 本体+スピーカーマイク

[スピーカー出力]	
本体	
-ダイヤル-	-戻る-
変更	完了

● **BT時PTT設定****

アプリ無線に接続時PTTキーを押すと簡易無線送信かアプリ無線送信どちらか、または両方で送信するを選ぶことができます。初期値はデジタル簡易無線送信です。

無線送信 / アプリ送信 / 同時送信

[BT時PTT設定]	
無線送信	
-ダイヤル-	-戻る-
変更	完了

● **BT中継機能****

簡易無線とアプリ無線を中継する機能です。オンに設定すると常に中継、切替に設定すると「戻る」キーを押すと中継、再度「戻る」キーを押すと中継解除といった動作になります。初期値はオフです。

オフ / オン / 切替

[BT中継機能]	
オフ	
-ダイヤル-	-戻る-
変更	完了

● **▲ / ▼キー設定****

マイクのUP/DOWNキーを押したときチャンネルのUP/DOWNまたはBluetooth接続時のPTT設定(DCR、APP、BOTH)を切り替えることができます。初期値はCHです。

CH/PTT設定

[▲ / ▼キー設定]	
CH	
-ダイヤル-	-戻る-
変更	完了

● **プライベートCH設定**

プライベートCHを設定します。初期値はCH01です。

CH01～CH82 / 上空S1～上空S15

[プライベートCH設定]	
CH01	
-ダイヤル-	-戻る-
変更	完了

●短縮動作

短縮動作 (CH)キーを長押ししたときに任意の機能を割り当てることができます。初期値はオフです。

オフ / モニター / スキャン / 送信出力切替 / 緊急 / プライベート CH / 音量固定・連動 / 最終録音再生 / BT 時 PTT 設定

[短縮動作]

オフ

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●スキャンタイプ*

スキャン時に受信した場合の動作を設定します。ビジーは受信終了後、タイマーは受信してから設定した秒数が経過したらスキャンを再開します。初期値はビジーです。

ビジー / タイマー 5 秒 / タイマー 10 秒 / タイマー 20 秒 / タイマー 30 秒 / タイマー 60 秒

[スキャンタイプ]

ビジー

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●スキャン CH 設定*

スキャンしたくない CH を指定できます。ダイヤルで CH を選び、「機能」キーでスキップを選びます。初期値は全ての CH がスキャン対象です。

スキャン / スキップ

[スキャンCH設定]

CH01 スキャン

—ダイヤル— || —機能—
CH移動 || 変更

●音量の調整方法

音量の設定値に関係なく音量を固定できます。次の項目で設定するので、音量は予め調べておきます。

ボリューム連動 / 設定値に固定

[音量の調整方法]

ボリューム連動

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●固定音量レベル

音量の調整方法で設定値に固定したときの音量を設定します。初期値は 21 です。

0 ~ 42

[音量固定レベル]

21

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●最大音量レベル*

音量調節の上限レベルを変更できます。初期値は 42 です。

0 ~ 42

[最大音量レベル]

42

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●最小音量レベル*

音量調節の下限レベルを変更できます。初期値は 0 です。

0 ~ 42

[最小音量レベル]

0

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●Bluetooth

アプリ無線接続用スマートフォンと接続できます。初期値はオンです。

オフ / オン

[Bluetooth]

オン

—▼▲— || —戻る—
変更 || 完了

■デュアルオペレーション*

●動作設定*

デュアルオペレーション機能を使うかどうかを選択します。初期値はオフです。

オフ / オン

[動作設定]

オフ

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●メイン CH 設定*

デュアルオペレーションで使用するメイン CH を設定します。初期値は CH01 です。

CH01 ~ CH82 / 上空 S1 ~ 上空 S15

[メインCH設定]

CH01

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●サブCH設定*

デュアルオペレーションで使用するサブCHを設定します。初期値はCH02です。

CH01～CH82/上空S1～上空S15

[サブCH設定]	
	CH02
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

●再開時間設定*

デュアルオペレーションで受信終了後に動作再開するまでの時間を設定します。初期値は5秒です。

1秒～10秒 (1秒ステップ)

[再開時間設定]	
	5秒
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

●CH切替間隔*

メインCHとサブCHの切替間隔を設定します。初期値は0.5秒です。

0.5秒～2.0秒 (0.1秒ステップ)

[CH切替間隔]	
	0.5秒
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

■緊急動作設定*

●緊急動作*

緊急動作に使うキーを選択します。初期値は本体のみです。

本体のみ / 本体 + マイク

[緊急動作]	
	本体のみ
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

●受信の許可禁止*

緊急通信を受信するかどうか選択します。初期値は禁止です。

禁止 / 許可

[受信の許可禁止]	
	禁止
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

●警報音のみ*

緊急動作の警報音を何秒鳴らすか設定します。初期値はオフです。

オフ / 1秒～60秒 (1秒ステップ)

[警報音のみ]	
	オフ
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

●警報音+発報*

緊急動作の警報音+発報を何秒動作させるか設定します。初期値は30秒です。

オフ / 1秒～60秒 (1秒ステップ)

[警報音+発報]	
	30秒
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

●発報のみ*

緊急動作の発報を何秒送信させるか設定します。初期値はオフです。

オフ / 1秒～60秒 (1秒ステップ)

[発報のみ]	
	オフ
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

●音声送信*

緊急動作の音声送信を何秒動作させるか設定します。初期値はオフです。

オフ / 1秒～60秒 (1秒ステップ)

[音声送信]	
	オフ
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

●受信動作*

緊急動作の受信動作を何秒させるか設定します。初期値はオフです。

オフ / 1秒～60秒 (1秒ステップ)

[受信動作]	
	オフ
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

●繰り返し回数*

緊急動作を何回繰り返すか設定します。初期値は無制限です。

無制限 / 1回～60回 (1回ステップ)

[繰り返し回数]	
	無制限
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

●再発報条件*

緊急動作後の再発報条件を設定します。初期値は一度のみです。

一度のみ / 状態検出時 / 状態変化時

[再発報条件]	
	一度のみ
—ダイヤル—	—戻る—
変更	完了

●警報音量*

警報音量を選択します。
初期値は最大です。

ビープ音量と同じ / ボリューム連動 /
レベル 1 ~ レベル 10 / 最大

[警報音量]

最大

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●衝撃判定強度*

振動検出モードで検出判定される衝撃
の強さを設定します。
初期値は 0.11G です。

0.05G ~ 1.98G

[衝撃判定強度]

0.11G

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

■ショックセンサー機能*

●動作モード*

ショックセンサーの動作モードを設定
します。振動検出モードの場合は「CH」
キーを押すと 10 秒後に動作を開始し
ます。初期値はオフです。

オフ / 転倒検出モード / 振動検出モード

[動作モード]

オフ

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●遠隔操作*

「PTT」キーを押して通信相手の振動検
出モードを動作状態にする機能です。
通信相手がショックセンサーの動作
モードを設定している必要があります。

[遠隔操作]

→PTTで警戒開始

■温度センサー機能*

●検出方向*

転倒検出モードで検出する傾斜方向を
設定します。初期値は左右+前後です。

上下 / 左右 / 左右+上下 / 前後 / 前後
+上下 / 左右+前後 / 全方向

[検出方向]

左右+前後

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●温度表示*

本機内部の温度を待受画面に表示させ
る機能です。初期値はオフです。

オフ / オン

[温度表示]

オフ

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●傾斜判定角度*

転倒検出モードで検出する傾斜角度を
設定します。初期値は 70.1° です。

0.0° ~ 90.0°

[傾斜判定角度]

70.1°

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●高温警報*

本機内部の温度が設定値以上になった
ときに警報を鳴らす機能です。初期値
はオフです。

オフ / -20℃以上 ~ +60℃以上
(5℃ステップ)

[高温警報]

オフ

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●傾斜判定時間*

転倒検出モードで検出判定されるまで
の時間を設定します。
初期値は 30 秒です。

0 秒 ~ 250 秒 (1 秒ステップ)

[傾斜判定時間]

30 秒

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●低温警報*

本機内部の温度が設定値以下になった
ときに警報を鳴らす機能です。初期値
はオフです。

オフ / -20℃以下 ~ +60℃以下
(5℃ステップ)

[低温警報]

オフ

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

■ 機器情報

機種名、CSM 番号、シリアル番号を表示させる機能です。

[機器情報]
MODEL DRDPM62W
CSM XXXXXXXXXX
Ser. XXXXXXXXXX

PC 拡張機能

弊社HPから無償でダウンロードできるソフトウェアと別売の ERW-7 接続ケーブルを使えば、本機の設定、そのデータの保存や書き換え、さらにショートメッセージの内容編集やリセットの禁止など、本体だけではできない操作が可能になります。

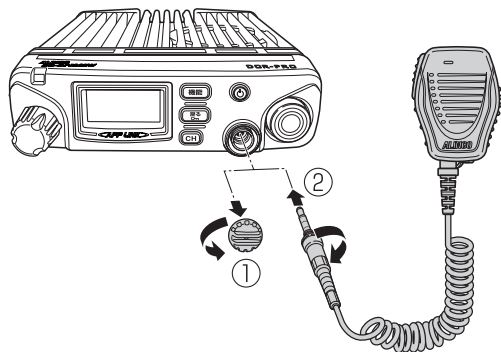
詳細は、弊社ホームページ (<http://www.alinco.co.jp/>) → 電子機器（無線機） → ダウンロード）に掲載しています。

8

保守・参考

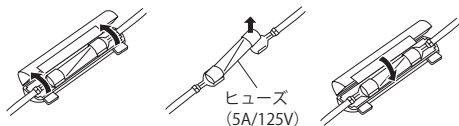
■マイクロホンの取付け

別売のオプションマイクロホンは下図のようにしっかり止まるまでねじ込みます。外したキャップはなくさないように保存してください。ねじ込みにくい場合は一度フロントパネルを外してから取付けてください。



■ヒューズの交換

本体の電源ケーブルはヒューズ (5A/125V) が 1 本使われています。ヒューズが切れて電源が入らなくなったときは、電源ケーブルの接続を外して、不具合の原因を取り除いたあと下図のように取り替えてください。



注意・本体側の電源ケーブルのヒューズは 5A、バッテリー側の電源ケーブルのヒューズは 15A です。

故障とお考えになる前に

「故障かな？」と思われたら、まず以下の「処置」をお読みください。マイクやケーブルが原因の不具合も有りますので、必ずアクセサリも点検してください。設定の間違いなどはリセットをすると回復する場合がありますが、意図した設定まで初期化されるので注意が必要です。

症状	原因	処置
電源を入れても、ディスプレイに何も表示されません。	DC ケーブルが接触不良を起こしている。	ケーブルやヒューズに異常が無いか点検してください。
	電源の (+) 端子と (-) 端子の接続が逆になっている。	DC ケーブル (付属品) の赤色側を (+) 端子、黒色側を (-) 端子に接続してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を除いたあと、指定容量のヒューズと交換してください。
ディスプレイの表示が暗い。	明るさ設定が低くなっている。	明るさ設定を高く設定してください。
ディスプレイの表示が異常になっている。	CPU が誤作動している。	リセットしてください。DC ケーブルを一旦抜いて再度接続してください。
スピーカーから音が出ない。受信できない。「ギャラギャラ」音が聞こえる。	音量が低すぎる。音量設定値が不適切 (P.37)	適切な音量にレベルを変えてください。
	スケルチレベルが高すぎる。	適切なレベルに調整してください。
	送信状態になっている。	「PTT」キーを操作して受信にしてください。
	各種動作設定のスピーカー出力設定が不適切。(P.36)	設定を見直してください。
	秘話キーが一致していない。	秘話キーを一致させる、もしくは送信側と受信側の秘話キーを OFF にしてください。

症状	原因	処置
送信ができない。 送信しても応答がない。	「PTT」キーが確実に押されていない。	「PTT」キーを押して、インジケーターを赤く点灯させてください。
	チャンネル（周波数）や通信設定が間違っている。	相手局と通信可能なチャンネル・設定に正しく合わせてください。
	キャリアセンスが働いている。	他の電波がなくなるのを待ってから送信してください。
	送信設定の送信出力が[受信のみ]になっている。	送信出力を[1W],[2W],[5W]にしてください。
	「BT時 PTT 設定」がアプリ送信になっている。	「BT時 PTT 設定」を無線送信に変更してください。
受信できない。	アンテナが接続されていない。	アンテナを確実に接続してください。
受信性能が悪くなった。	アッテネーターが入っている(P.34)	アッテネーターをオフにする。
チャンネル（周波数）が切替わらない。	キーロックされている。	キーロックの設定を解除してください。
	プライベートチャンネルになっている。	短縮動作のプライベートCH機能を使い、元のチャンネルに戻ります。
キーによる操作ができない。	キーロックが設定されている。	キーロックの設定を解除してください。
アプリ無線が動作しない。	お使いになるスマートフォンとペアリングされていない。	ペアリング方法に従ってペアリングしてください。
アプリ無線の受信音が小さい。または全く聞こえない。	ペアリングされているスマートフォンの音量設定が小さく、または大きくなりすぎている。	スマートフォンの音量設定をセンター付近に調整してください。

■ 無線機の状態に異常があるとエラー表示が出ます。故障を示すエラー表示もあります。その際は、点検・修理が必要になりますので、「アフターサービスについて」をご覧ください。販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。

■ 自動車やバイクなど比較的速い速度で移動する局との通信やアンテナが揺れるような状態で使用すると通話が安定しないことがあります。これは電波伝搬上の理由によるもので異常ではありません。

■ 秘話や個別・グループ呼出機能を使うと通話距離が若干短くなることがありますが、異常ではありません。

アフターサービスについて

■ 保証書

保証書は購入店名、購入日の記入（または専用ステッカー貼付けなど）と、記載の製造番号をお確かめの上、本書と一緒に大切に保管してください。記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類と一緒に保存してください。購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。

■ 保証期間

同梱の保証書に記載されている期間です。

正常な使用状態で上記の期間中に万一の故障が生じた場合は、お手数ですが製品に有効な保証書を添えて、お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。保証書の規定にしたがって無償修理いたします。

■ 保証期間が過ぎたら

お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有償で修理いたします。アフターサービスや製品に関するよくあるご質問は「アルインコ 電子 FAQ」をキーワードにネット検索してください。ご不明な点がありましたら、お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。

■ 製造終了製品に対する保守年限に関して

弊社では製造終了後も下記の期間、製品をお使い頂けるように最低限必要な補修用部品を常備しています。ただし不測・不可抗力の事態により在庫部品に異常が発生したような場合はアフターサービスをご提供できなくなることもありますので、あらかじめご了承ください。

補修部品の保有期間は、生産終了後 **5** 年です。

■ 注意事項

- ・ 改造、分解されたり銘板やラベル類が剥がされた製品は、修理をお断りすることがあります。
- ・ 修理見積や保険用の証明書類の発行は、一部有償です。
- ・ 本製品には明確に定められた製品寿命はありません。
- ・ 弊社の製品保証には、取付けや取り外しに掛かる費用は含まれていません。

9

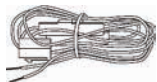
オプション一覧



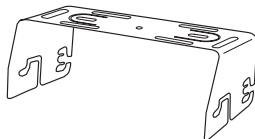
- ・マイクロホン (8ピン)
EMS-61(スペア)



- ・スピーカーマイク (ねじ込み式)
EMS-500(約 50cm コイルコード)
 - ・ロングケーブルスピーカーマイク (ねじ込み式)
EMS-501(5m ストレートケーブル)
- 共に IP67 の耐塵、防浸です。



- ・DC ケーブル (スペア)
UA0038AY
- ・EDS-9 セパレートキット
- ・ERW-7 PC 接続ケーブル



- ・モバイルブラケットセット (スペア)
FM0078Z

マイクキャップ、取付ネジ、マイクハンガー等の付属品も補修用部品としてお求めになれます。ご購入店へご注文ください。

10

定格

■ 一般仕様

送受信周波数	351.20000 ~ 351.63125MHz CH01 ~ CH70 351.03125 ~ 351.10000MHz CH71 ~ CH82
受信専用周波数 (上空チャンネル)	351.16875 ~ 351.19375MHz S1 ~ S5 351.10625 ~ 351.16250MHz S6 ~ S15
電波型式	F1C F1D F1E F1F
アンテナインピーダンス	50 Ω
定格電圧	13.8V ± 10% または、26.4V ± 10%
消費電流	1.7A 以下 (送信時: 5W) 1.1A 以下 (送信時: 2W) 0.9A 以下 (送信時: 1W) 800mA 以下 (受信時) 500mA 以下 (待ち受け時) 40mA 以下 (電源 OFF 時) 5mA 以下 (ACC ケーブルにて電源 OFF 時)
マイクロホンインピーダンス	2k Ω
外形寸法 (本体突起物除く) W × H × D	140.0 × 40.0 × 178.0mm
質量 (EMS-61 装着時)	約 1200g
使用温度範囲	- 20℃ ~ + 60℃

■ 送信部

送信出力	5W/2W/1W (偏差: + 20%、- 50%)
変調方式	4 値 FSK
周波数偏差	± 1.0ppm
占有周波数帯域幅	5.8KHz 以下
最大周波数偏移	± 1324Hz 以内
スプリアス発射強度	2.5uW 以下

■ 受信部

受信感度	- 3dBuVemf 以下 (BER1 × 10 ⁻²)
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン
低周波出力 (最大時)	2W 以上 (本体 / 外部スピーカー)、800mW 以上 (EMS-500/501)

11 付録

■ 設定初期値一覧表

通信設定	
ユーザーコード	オフ
秘話コード	オフ
秘話タイプ	標準秘話
親機子機切替*	親機

個別設定	
個別通信動作	オフ
通信相手選択	全局
自局 ID	001
自局グループ	01
個別呼出切替*	オフ
グループ呼出切替*	オフ
全局呼出切替*	オフ
緊急相手選択*	全局
ダイヤル動作*	チャンネル選択

録音機能*	
録音データ一覧*	-
録音動作設定*	オフ
録音データ消去*	オフ
録音停止時間*	10 秒

ショートメッセージ機能*	
受信メッセージ一覧*	-
受信メッセージ消去*	-
メッセージ送信*	-
受信の許可禁止*	禁止
受信時自動表示*	オン

送信設定	
送信出力	5W
マイク感度	0dB
緊急時マイク感度*	0dB
PTT ホールド*	オフ
ノイズキャンセル機能	オフ
ノイズ抑制機能*	オン
トーン抑制機能*	オフ

受信設定	
音量一定化	オフ
低音域抑制	オフ
高音域抑制	オフ
対象外受信*	オフ
スケルチ*	5
アッテネーター*	オフ

通知 / 警告設定	
ベル機能	オフ
ベルの音色*	1
音声ガイドンス	全て
送信制限警告*	オン
受信低下通知	オフ

表示設定	
バックライトタイマー	常灯
カラー	ホワイト
明るさ	10
コントラスト*	8
インジケーター	2
CH 非表示	オフ
周波数表示*	オフ
S メーター表示*	オフ
受信レベル表示*	標準

操作音設定	
ビープ音量	レベル 3
PTT ビープ	低音レベル 2
エンドビー	低音レベル 2

電源設定	
オートパワーオフ	オフ

各種動作設定	
上空用 CH 受信*	オフ
CH 通信設定*	全 CH で共通設定
スピーカー出力	本体
•BT時PTT設定**	無線送信
•BT中継機能**	オフ
•▲/▼キー設定**	CH
プライベートCH設定	CH01
短縮動作	オフ
スキャンタイプ*	ビジー
スキャンCH設定*	スキャン (全 CH)
音量の調整方法	ボリューム連動
固定音量レベル	21
最大音量レベル*	42
最小音量レベル*	0
Bluetooth	オン

デュアルオペレーション*	
動作設定*	オフ
メインCH設定*	CH01
サブCH設定*	CH02
再開時間設定*	5 秒
CH 切替間隔*	0.5 秒

緊急動作設定*	
緊急動作*	本体のみ
受信の許可禁止*	禁止
警報音のみ*	オフ
警報音 + 発報*	30 秒
発報のみ*	オフ
音声送信*	オフ
受信動作*	オフ
繰り返し回数*	無制限
再発報条件*	一度のみ
警報音量*	最大

ショックセンサー機能*	
動作モード*	オフ
検出方向*	左右 + 前後
傾斜判定角度*	70.1°
傾斜判定時間*	30 秒
衝撃判定強度*	0.11G
遠隔操作*	-

温度センサー機能*	
温度表示*	オフ
高温警報*	オフ
低温警報*	オフ



- 参考
- * マークが付いている項目は拡張セットモードの設定項目です。
 - ** マークが付いている項目は Bluetooth オンにしていないと表示されない項目です。
 - このページをコピーして本機の近くに保存しておくとう便利です。

- 仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
- 本書の説明用イラストは、実物とは状態や形状が異なる、一部の表示を省略している、等の場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
- 乱丁・落丁はお取り替え致します。

RoHS



アルインコ株式会社 電子事業部

支店・営業所とサービスセンター（S/C）

東京 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888
名古屋 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目10番19号 サンエイビル4階 TEL.052-212-0541
大阪/S/C 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号 エコービル2階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店またはフリーダイヤル ☎ 0120-464-007

全国どこからでも無料でサービス窓口につながります。

受付時間/月曜～金曜 10:00～17:00 (土日祝・休業日と12:00～13:00は除きます。)

ホームページ <https://www.alinco.co.jp/> > 事業案内 > 電子事業部 をご覧ください。

Copyright Alinco, Inc.

PS1097

FNFG-NK